

令和8年度 大阪市子ども読書フォーラムにおける報告資料

- ≪資料 1≫ 令和7年度「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況(取組目標・指標)
- ≪資料 2≫ 「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況
- ≪資料 3≫ 「子どものためのイベント+施設ガイド・タッチ 令和8年度 夏」
- ≪資料 4≫ 「学校図書館活用推進事業」について
- ≪資料 5≫ 令和7年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ
- ≪資料 6≫ 令和7年度こども本の森中之島 読書活動に関する報告
- ≪資料 7≫ 区における子どもの読書活動の取組みについて
- ≪資料 8≫ 令和8年度各区の子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

令和7年度「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況(取組目標・指標)

第3次計画

第4次計画期間(R4(2022)-R7(2025))

取組目標・指標	各年度実績値						令和7年度 目標値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
「学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか(教科書や参考書 漫画や雑誌は除く)」に対して「読書を全くしない」と回答する児童・生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】※令和6年度は【大阪市小学校学力経年調査、中学校アンケート】	小	29.9% [参考:全国 24.0%]	32.5% [参考:全国 26.3%]	30.5% [参考:全国 24.5%]	32.8% ※	34.4% [参考:全国 29.2%]	23.5%
	中	49.1% [参考:全国 37.4%]	51.1% [参考:全国 39.0%]	48.4% [参考:全国 36.8%]	42.4% ※	49.6% [参考:全国 41.8%]	44.0%
「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合【大阪市小学校学力経年調査】		72.5% (令和2年度実績)	74.5%	74.0%	72.9%	70.5%	76.5%
学校図書館貸出冊数 (児童生徒1人当たり年間貸出冊数)	小	29冊 (令和元年度実績)	32冊	32.2冊	33.1冊	31.9冊	38冊
	中	3冊 (令和元年度実績)	2.8冊	2.7冊	2.8冊	2.6冊	6冊
「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して「月に数回程度以上」と回答する学校の割合【大阪市小学校学力経年調査】		69.7% (令和2年度実績)	69.8%	69.6%	81.4%	82.8%	80.0%
市立図書館児童書の貸出冊数		2,716,230冊	3,327,318冊	3,222,665冊	2,987,814冊	2,963,415冊	300万冊
市立図書館7-12 歳(小)、13-15歳(中)の利用者数	小	15,815 名	18,106名	17,707名	16,770名	15,630名	16,800 名
	中	4,386 名	4,405名	4,208名	4,003名	3,886名	4,800名
子育て支援施設等への配本回数		426回	439回	439回	436回	439回	430回
市立図書館と学校との連携事業回数		1,934回	3,090回	3,661回	3,536回	3,503回	2,100回
市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数		84,499冊	97,341冊	82,348冊	65,639冊	75,835冊	10万冊
市立図書館「こどものページ」「ティーンズのページ」アクセス数		26,767件	30,692件	20,675件	22,144件	20,918件	28,000件
読書活動支援ボランティア数		2,380名	2,478名	2,509名	2,419名	2,469名	2,500名
市立図書館と区役所等との連携事業回数		946回	1,576回	1,659回	1,474件	1,611件	1,200回
子どもの読書活動推進 連絡会(全市、区)		年1 回以上	年1 回以上	年1 回以上	年1 回開催	年1 回開催	年1 回以上

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況

[資料2]

取組		取組内容(R4～R7年度)	担当	R7年度計画	R7年度実施状況 成果・課題など
1 子どもの読書環境の整備・充実					
(1) 家庭・地域を中心とした読書活動の推進					
① 乳幼児期における読書活動の推進					
1(1)①	子育て支援施設でのブックスタート事業の実施	乳幼児健診時の読み聞かせ等ブックスタート事業啓発の推進	区役所・こども青少年局・市立図書館	全区でブックスタート事業の実施	全区でブックスタート事業の実施
		ブックスタートボランティア講座の実施	区役所・こども青少年局・市立図書館	ブックスタートボランティア講座の実施	ブックスタートボランティア講座の実施
		ブックスタートボランティアへの支援	区役所・こども青少年局・市立図書館	乳幼児向け絵本リスト提供およびブックスタート用絵本の貸出	乳幼児向け絵本リスト提供およびブックスタート用絵本の貸出、子育て支援センター（保育所運営課）の職員による講座の実施
	子育て支援施設での読書活動の推進	施設での絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	こども青少年局・市立図書館	子育て支援施設での絵本など図書の設置 子育て支援施設と市立図書館との連携による読書活動の実施	子育て支援施設での絵本など図書の設置 子育て支援施設と市立図書館との連携による読書活動の実施
		施設職員への情報提供	こども青少年局・市立図書館	各施設への図書館だよりや行事チラシ等配布による情報提供	各施設への図書館だよりや行事チラシ等配布による情報提供
	保護者を中心とした大人への啓発	保護者対象の読み聞かせ講座の実施	区役所・市立図書館・生涯学習部	出前講座等、保護者に向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座の実施	出前講座で「子育てに絵本を」を実施
		保護者当を対象とした情報提供	区役所・市立図書館・生涯学習部	各施設への図書館だよりや行事チラシ等設置による情報提供 「親力アップサイト」による情報提供 アクセス数目標値：5,700件	各施設への図書館だよりや行事チラシ等設置による情報提供 「親力アップサイト」による情報提供 アクセス数：18,200件
	市立図書館全館の子育て支援情報コーナーの充実	区役所、幼稚園、保育所、子育て支援施設等の子育てに役立つ情報の提供	市立図書館	全館で子育て支援コーナーを継続設置	全館で子育て支援コーナーを継続設置
		区役所の子育て支援広報紙・子育て支援施設の行事案内等の配布	市立図書館	子育て支援コーナー等での子育て支援関連広報設置	子育て支援コーナー等での子育て支援関連広報設置
② 就学前施設における読書活動の推進					
1(1)②	幼稚園、保育所、認定こども園等就学前施設での読書活動の推進	絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	指導部・こども青少年局・市立図書館	幼稚園での、絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言 読み聞かせ、配本等、市立図書館との連携による読書活動の状況把握 保育所、幼稚園等での絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言	幼稚園での、絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言により、幼児の絵本への興味や関心が高まる。 読み聞かせ、配本等、市立図書館との連携による読書活動の状況把握により、現状に対する指導につながる。 保育所、幼稚園等での絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言
		保護者への情報提供	指導部・こども青少年局・市立図書館	各施設への行事チラシや絵本リスト配布による情報提供	各施設への行事チラシや絵本リスト配布による情報提供
		教職員・保育士への情報提供・研修実施	指導部・こども青少年局・市立図書館	保育・幼児教育センターでの研修実施、絵本など図書の設置	保育・幼児教育センターでの研修実施、絵本など図書の設置

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況

[資料2]

取組		取組内容(R4～R7年度)	担当	R7年度計画	R7年度実施状況 成果・課題など
(2) 学校における読書活動の推進					
1(2)	学校図書館の環境整備	大阪市図書標準の全小中学校での維持	学校・市立図書館	全校100%達成を維持	全校100%達成を維持
		調べ学習に役立つ蔵書の充実	学校・市立図書館	蔵書構成の充実に向けた取組を実施	蔵書構成の充実に向けた取組を実施
		学校司書の配置	学校・市立図書館	全小中学校及び義務教育学校に学校司書を配置うち、24校には週4日30時間1校専任の主幹学校司書を配置。また、25学級以上の大規模校11校に1日加配。それ以外は、週1日6時間で一人の学校司書が2～4校を兼任する。	全小中学校及び義務教育学校に学校司書を配置うち、27校には週4日30時間1校専任の主幹学校司書を配置。また、25学級以上の大規模校12校に1日加配。それ以外は、週1日6時間で一人の学校司書が2～3校を兼任する。
1(2)	学校図書館を活用した教育の推進	調べ学習や読書活動推進のための教員研修	学校・指導部・市立図書館	学校図書館入門講習等、教員研修の実施	学校図書館入門講習等、教員研修の実施
		ポータルサイト等を通じた情報提供の実施	学校・指導部・市立図書館	選書に役立つリスト等、SKIPポータルへの情報提供	選書に役立つリスト等、SKIPポータルへの情報提供
		総合的読解力の育成に向けた取組の推進	学校・指導部・市立図書館	総合的読解力育成のためのカリキュラム実施	総合的読解力育成のためのカリキュラム実施
1(2)	読書に親しむ児童生徒の育成	一斉読書(朝の読書など)、ビブリオバトル、読書週間の行事など読書のきっかけとなる催し等の開催	学校	一斉読書、ビブリオバトル、読書週間の行事などの実施	一斉読書、ビブリオバトル、読書週間の行事などの実施
1(2)	学校図書館支援ボランティアへの支援	ボランティア募集に対する支援	市立図書館・区役所	各区の状況に応じて継続実施	各区広報等での学校図書館支援ボランティア募集記事等掲載
		学校図書館支援ボランティア向けの入門講座、ステップアップ講座等、知識・技術・意欲向上に向けた講座の開催	市立図書館・区役所	学校図書館支援ボランティア講座の実施	学校図書館支援ボランティア講座実施回数14回
(3) 市立図書館における読書活動の推進					
① 図書館利用者へのサービス					
1(3)①	児童書の充実	蔵書の豊富化	市立図書館	児童書の豊富化の継続	市立図書館児童書蔵書冊数1,022,262冊
		調べ学習用図書の充実	市立図書館	調べ学習用図書の継続整備	調べ学習支援等の児童図書を継続整備(購入受入:398冊 前年度比6.7%増)
		子どもたちに親しまれる絵本や読み物の購入・更新	市立図書館	児童書の新規購入の継続	市立図書館児童書年間購入冊数35,192冊
		ふるさと寄附金の活用による児童図書整備	市立図書館	ふるさと寄附金の募集広報	7,155,386円(前年比67.22%増)

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況

[資料2]

取組		取組内容(R4～R7年度)	担当	R7年度計画	R7年度実施状況 成果・課題など
1(3)①	親しみやすく利用しやすい館内づくり	館内サインや掲示物等の見直し	市立図書館	わかりやすい館内サイン、掲示の維持	わかりやすい館内サイン、掲示の維持
		図書展示の工夫	市立図書館	子ども向け図書展示全館で実施	子ども向け図書展示の全館実施
		読書相談の広報ポスター作成・掲示	市立図書館	読書相談の広報ポスター継続掲示	読書相談の広報ポスター作成・掲示
	地域資料・地域の情報の収集・発信	「としょかんポイントプログラム」での大阪の歴史や文化にふれるクイズの実施	市立図書館	「としょかんポイント」は新システムへの移行に伴い令和6年度をもって終了。後継の取組を検討・実施予定。	「大阪市立図書館×Osaka Metroクイズラリー2025」にて市立図書館ホームページやデジタルアーカイブ、電子書籍等を活用したクイズを実施
	ICTの活用	商用データベースや電子書籍など子どもが利用できる電子図書館機能の活用推進	市立図書館	「としょかんポイント」は新システムへの移行に伴い令和6年度をもって終了。後継の取組を検討・実施予定。	「大阪市立図書館×Osaka Metroクイズラリー2025」にて市立図書館ホームページやデジタルアーカイブ、電子書籍等を活用したクイズを実施
		電子書籍サービスで提供している英文児童書の活用推進	市立図書館	電子書籍の英文児童書リストの提供	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供
	乳幼児向けサービス	乳幼児向け催しの実施	市立図書館	図書館全館で実施	全館で実施
		乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする展示の充実	市立図書館	図書館全館で実施	全館で実施
	小学生に向けたサービス	小学校高学年向けの行事等の充実	市立図書館	小学校高学年向け事業の全館実施	小学校高学年向け事業の全館実施
		「としょかんポイントプログラム」での大阪の歴史や「こどものページ」「子どもにすすめる本」のページの充実	市立図書館	「こどものページ」「子どもにすすめる本」のページの充実	「こどものページ」アクセス件数11,866件、「子どもにすすめる本」アクセス件数13,311件
		「としょかんポイントプログラム」実施による読書推進	市立図書館	「としょかんポイント」は新システムへの移行に伴い令和6年度をもって終了。後継の取組を検討・実施予定。	「大阪市立図書館×Osaka Metroクイズラリー2025」にて市立図書館ホームページやデジタルアーカイブ、電子書籍等を活用したクイズを実施
	中高生を中心とした若年層に向けたサービス	ティーンズ向けコーナーの利用促進	市立図書館	各種催しや企画展の開催、りんご通信の発行	各種催しや企画展の開催、りんご通信の発行
		ティーンズ向けコーナーの催しや企画展の実施	市立図書館	ティーンズ層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催	ティーンズ層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催
		市立図書館Wi-Fi環境の利用促進	市立図書館	市立図書館Wi-Fi環境周知掲示	市立図書館Wi-Fi環境周知掲示
		電子図書館機能の利用促進	市立図書館	「としょかんポイント」は新システムへの移行に伴い令和6年度をもって終了。後継の取組を検討・実施予定。	「大阪市立図書館×Osaka Metroクイズラリー2025」にて市立図書館ホームページやデジタルアーカイブ、電子書籍等を活用したクイズを実施
		「ティーンズのページ」の充実	市立図書館	「ティーンズのページ」の充実	「ティーンズのページ」アクセス件数9,052件

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況

[資料2]

取組		取組内容(R4～R7年度)	担当	R7年度計画	R7年度実施状況 成果・課題など
1(3)①	障がいのある子どもへのサービス	子ども向けの点字図書、録音図書、LLブック、拡大図書(大活字本)、デージー図書の提供充実	市立図書館	子ども向けの点字図書、録音図書、LLブック、拡大図書(大活字本)、デージー図書の購入	LLブック 893点(前年度比76点増)、マルチメディアデージー1,286点(大人向け含む)(前年度比338点増)
		支援が必要な子どもや読書バリアフリー資料に関する広報・啓発	市立図書館	読書バリアフリーに関する広報・啓発	読書体験会、製作講習会など24回、参加者数708人、読書バリアフリー啓発展示23回
	外国につながる子どもへのサービス	子ども向け外国語資料の充実および利用促進	市立図書館	子ども向け外国語資料の新規購入および利用促進のための図書展示	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供
		外国語の絵本等を活用した催しの実施	市立図書館	外国語の絵本等を活用した催しの実施	外国語の絵本等を活用した行事实施20回
		外国につながる住民に向けた市立図書館サービス利用案内の継続	市立図書館	外国につながる住民に向けた市立図書館サービス利用案内の継続	外国につながる住民に向けた市立図書館サービス利用案内の実施
		電子書籍の英文児童書リストの作成・提供	市立図書館	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供
		外国語ページ・やさしいにほんごのページの充実	市立図書館	外国語ページ・やさしいにほんごのページの充実	外国語資料ページのアクセス件数6,619件(前年度比116.0%増)、やさしいにほんごのページのアクセス件数7,977件(前年度比 42.4%減)
		学校等に向けた外国語資料の団体貸出についての周知・活用促進	市立図書館	学校等に向けた外国語資料の団体貸出の継続実施	外国語資料の団体貸出冊数50件、1,891冊
② 図書館外へのサービス(アウトリーチサービス)					
1(3)②	自動車文庫の運行、読書普及	自動車文庫の運行、利用促進に向けた広報活動	市立図書館	自動車文庫の運行、利用促進に向けた広報活動継続実施	自動車文庫車で1日当たりの児童書貸出冊数466冊(前年度比7.2%減)、友渚小学校でのましかど号の紹介
		ステーションでのおたのしみ会や図書の展示等、読書普及活動の実施	市立図書館	ステーションでのおたのしみ会、展示等継続実施	ステーションでのおはなし会2回実施
	幼稚園・保育所・子育て支援施設等との連携・支援	市立図書館から幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本回数維持	市立図書館	市立図書館から幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本回数維持	子育て支援施設や幼稚園・保育所等への配本回数439回(前年度3回増)
		幼稚園・保育所・子育て支援施設等での絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティア派遣	市立図書館	幼稚園・保育所・子育て支援施設等での絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティア派遣	ボランティア派遣回数1,775回(前年度7回減)
	学校との連携・支援	市立図書館から小・中学校への学校通送を利用した団体貸出の活用による調べ学習・一斉読書支援の周知	市立図書館	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布
		市立図書館の図書やICTを活用した調べ学習に役立つガイド(中学校向け)の提供	市立図書館	電子書籍を活用したティーンズ向けのガイド提供	電子書籍を活用したティーンズ向けのガイド提供
		学校園における一部商用データベースの設置・周知	市立図書館	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布
		大阪市立の小中学校専用電子書籍ページ設置・周知	市立図書館	大阪市立の小中学校専用電子書籍ページ設置・全小中学校への周知	大阪市立の小中学校専用電子書籍ページ設置・全小中学校への周知

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況

[資料2]

取組		取組内容(R4～R7年度)	担当	R7年度計画	R7年度実施状況 成果・課題など
1(3)②	学校との連携・支援	「市立図書館活用の手引き」の全校配布	市立図書館	手引き及び概要をSKIPポータル書庫に格納し、同連絡掲示板にて全校周知	概要を作成して、SKIPポータル書庫に格納し、同連絡掲示板にて全校周知
		ホームページ「学校支援のページ」の充実	市立図書館	「学校支援のページ」の充実	学校支援のページアクセス件数9,204件（前年度比29.8%増）
		市立図書館見学、体験学習受入、おはなし会・ブックトークなどの実施	市立図書館	市立図書館見学、体験学習受入、おはなし会・ブックトークなどの継続実施	図書館見学、職場体験、図書館主任会への参加等、連携事業の実施数3,503件（前年度比0.01%減）
		図書主任会への出席など、学校図書館の運営面への支援	市立図書館	図書館主任会への参加、図書リスト等の情報提供、学校図書館リニューアルや新設校への支援	図書館主任会への参加、図書リスト等の情報提供、学校図書館リニューアルや新設校への支援
		小・中学校の学校図書館の選書支援	市立図書館	蔵書構成の充実に向けた取組のための選書リストの提供、新刊案内を毎月発行、大阪市学校図書館基本図書リストの更新	蔵書構成の充実に向けた取組のための選書リストの提供、新刊案内を毎月発行、大阪市学校図書館基本図書リストの作成
	読書活動支援ボランティアとの連携・協力	幼児期読書活動支援ボランティア養成講座の実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア	幼児期読書活動支援ボランティア養成講座の継続実施	入門講座6回（難波市民学習センター実施分を含む）289人（前年度6回・292人）
		ボランティアステップアップ講座の実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア	ボランティアステップアップ講座の継続実施	ステップアップ講座3回・125人（前年度3回・117人）
	読書活動支援ボランティアとの連携・協力	すべての区で交流会や情報交換会を実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア	情報交換会の実施	情報交換会の実施
		ボランティアページの充実、利用促進	市立図書館・読書活動支援ボランティア	ボランティアページの充実、利用促進	ボランティアページのアクセス件数5,553 件（前年度比14.8%増）
		一人一人の子どもの多様性に応じた対応についての情報提供	市立図書館・読書活動支援ボランティア	発達段階に応じた図書リストの提供、多言語による「いろんなことばのおはなし会」実施	発達段階に応じた図書リストの提供、多言語の絵本リストの提供、「いろんなことばのおはなし会」実施
2 子どもの読書活動に関する普及・啓発					
(1) 普及・啓発事業					
2(1)	子ども読書の日記念事業	市立図書館全館で子ども読書の日記念事業の実施	市立図書館	市立図書館全館で実施	市立図書館全館で実施 総参加者数1,097人
	大阪市図書館フェスティバル	市立図書館全館で大阪市図書館フェスティバルの実施	市立図書館	市立図書館全館で実施	市立図書館全館で実施(10/18-11/24) 総参加者数4,080人
	One Book One OSAKA	読書活動支援ボランティアを中心として市立図書館、大阪府立中央図書館との協働による「One Book One OSAKA」の実施	読書活動支援ボランティア・市立図書館・大阪府立中央図書館等	第9回One Book One OSAKA周知	第10回One Book One OSAKA投票周知
		One Book One OSAKA関連イベント等読書普及活動の実施	読書活動支援ボランティア・市立図書館・大阪府立中央図書館等	各図書館や連携先での関連展示の実施	各図書館や連携先での関連展示・イベントの実施

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況

[資料2]

取組		取組内容(R4～R7年度)	担当	R7年度計画	R7年度実施状況 成果・課題など
2(1)	こどものほんだな	こどものほんだな作成・配布	市立図書館	作成、配布	「こどものほんだな2025」作成、配布
		こどものほんだなリストのオープンデータ公開	市立図書館	データセットを公開 大阪市LINEアカウントで「こどものほんだな」コンテンツを継続発信	データセットを公開 大阪市LINEアカウントで「こどものほんだな」コンテンツを継続発信
(2) 効果的な広報					
2(2)	紙媒体による広報活動	「子どものためのイベント＋施設ガイド『タッチ』」の発行、市内全小学生への配布	生涯学習部・市立図書館	7月と3月の年2回発行(オンラインマガジンをいちょうネットへ掲載) 案内チラシの配布	7月と3月の年2回発行(オンラインマガジンをいちょうネットへ掲載)※令和7年度から冊子の電子化に伴い案内チラシの配布(18万部)
		大阪市生涯学習情報誌「いちょう並木」への市立図書館の情報掲載	生涯学習部・市立図書館	毎月号に掲出	年11回 1万8千部発行(12、1月は合併号)
		各区広報紙への情報提供	市立図書館	市立図書館全館で実施	市立図書館全館で実施
	ホームページを活用した広報活動	市立図書館ホームページ内容の豊富化	市立図書館	「こどものページ」、「子どもにすすめる本」、「ティーンズのページ」定期更新	「こどものページ」、「子どもにすすめる本」、「ティーンズのページ」定期更新
		市立図書館「新着お知らせメール」の周知など活用促進・いちょうネットでの情報発信	市立図書館	子ども向け行事等情報発信	子ども向け行事等情報発信
	SNSを使った情報発信	Twitter・Facebook等SNSを使った情報発信	市立図書館	Twitter・Facebook等SNSを使った定期的な情報発信	X(旧Twitter)発信件数703件(前年度比20.5%減)、Facebook発信件数160件(前年度比10.3%増)
3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大					
(1) 区役所や地域施設を核とした家庭・地域・市立図書館の連携協力					
3(1)	子育て支援施設でのブックスタート事業の実施	実施施設と市立図書館の連携・協力	区役所・こども青少年局・市立図書館	ブックスタートの実施	ブックスタート事業の実施
	区役所・子育て支援施設・市立図書館の連携・協力	子どもの読書や施設の読書活動に関する情報提供	区役所・こども青少年局・市立図書館	読書普及行事等の情報提供	読書普及行事等の情報提供
		子育て支援事業等、区における子供の読書活動の取組での連携・協力	区役所・こども青少年局・市立図書館	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施(資料7参照)
		市立図書館と連携・協力した読書普及・啓発活動の実施	区役所・こども青少年局・市立図書館	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施(資料7参照)
		区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置	区役所・こども青少年局・市立図書館	区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置	区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置
	生涯学習関係事業での連携・協力	生涯学習施設での読書活動支援の催し等の実施	生涯学習部・市立図書館	市民学習センター等でのネットワーク型市民セミナー「図書ボランティア入門講座」等実施	市民学習センター等でのネットワーク型市民セミナー「図書ボランティア入門講座」など全6回講座ほか、連携・協力の実施
		市立図書館と連携・協力した生涯学習事業の実施	生涯学習部・市立図書館	「子どもと保護者でいっしょに学ぶ読書感想文の書き方講座」の実施 「子育ての悩みや不安が解消・軽減した」と回答す参加者の割合(目標値)80%	「子どもと保護者でいっしょに学ぶ読書感想文の書き方」の実施 「子育ての悩みや不安が解消・軽減した」と回答した参加者の割合100%

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和7年度計画および実施状況

[資料2]

取組		取組内容(R4～R7年度)	担当	R7年度計画	R7年度実施状況 成果・課題など
3(1)	地域の企業や団体・機関との連携	市立図書館と地域の企業や大学・団体・機関等との連携による子どもの読書活動の実施	市立図書館	市立図書館と地域の企業や大学・団体・機関等との連携による子どもの読書活動の実施	市立図書館と地域の企業や大学・団体・機関等との連携による子どもの読書活動の実施
	「こども本の森中之島」での読書活動推進	「こども本の森中之島」での絵本など図書の設置・読み聞かせ等の催しの実施など読書環境の整備	経済戦略局	・子ども達に多くの芸術文化に触れる機会を与え、子どもの想像力や好奇心を育む施設として、今まで以上に来館いただけるよう集客を推進する。 ・本にふれる機会の拡充のため、晴天時に外で本が読め、予約者のみでなくだれでも利用が可能な「ほんのもりピクニック」を引き続き実施する。 ・大阪・関西万博期間中の運営について、毎週土曜日・日曜日と最終日10月13日に特別夜間開館（17:30-19:00）を実施する。 ・大阪・関西万博の開催に伴い、日本各地や海外からの来館者を当館へ誘致する取り組みを進める。	・こども本の森ピクニックを開催し、館外でスタッフによる読み聞かせを行った。 （年10回開催、参加者1,588人） ・万博開催期間限定特別夜間開館により、特別に夜間開館を実施した。 （年54回開催、参加者9,392人） ・万博開幕中に、もりびと（スタッフ）によるよみかせ会を開催し、万博関連本の紹介等行った。 （年4回開催、参加者200人）
(2) 学校を核とした家庭・地域・市立図書館の連携・協力					
3(2)	小学校区のはぐくみネット事業、中学校区の元気アップ地域本部事業等における読書活動の連携・協力	ボランティアに対する支援	学校・区役所・生涯学習部・指導部・市立図書館	（はぐくみネット）コーディネーター対象の研修にて、学校教育支援のあり方として読書活動支援にも言及して実施	はぐくみネットでの活動で学校支援ボランティアにおいて読書活動支援に1500人を超えて取り組む。全市では、人材育成や学校との連携が共通の課題。
	児童いきいき放課後事業における連携・協力	児童いきいき放課後事業における読書活動への支援での連携・協力	学校・こども青少年局・教育委員会事務局・区役所・市立図書館	引き続き、いきいき活動における学校図書館の活用の推進及び中央図書館からおすすめ本リストの提供をうけ図書購入を行うなど、いきいき活動室の読書環境充実の取組を実施する。	いきいき活動における学校図書館の活用の推進及び中央図書館からおすすめ本リストの提供をうけ図書購入を行うなど、いきいき活動室の読書環境充実の取組実施。
	学校図書館を活用した読書活動支援	図書ボランティア講座の実施	学校・指導部・市立図書館	学校図書館支援ボランティアの支援、学校図書館支援ボランティアに対する講座の実施	学校図書館ボランティア講座実施回数14回
		ボランティアによるおはなし会の開催や情報共有など連携の強化	学校・指導部・市立図書館	読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催 学校図書館活用状況調査結果の共有	読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催 学校図書館活用状況調査結果の共有
(3) 地域・市民を軸とした読書活動の輪の形成					
3(3)	子どもの読書を支える施設・団体のネットワークづくり	子どもの読書活動推進連絡会の実施	市立図書館・生涯学習部・こども青少年局・区役所等	実施予定	「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」を9/31に開催、全区で「子どもの読書活動推進連絡会」を開催（集合形式）

大阪市から夏休みのイベントのお知らせ!



子どものための
イベントガイド

タッチ

が

ほごしゃ
保護者の方と
いっしょ
一緒にみてね!

オンラインになりました!

令和8年〈2026〉夏号

7.10^こ_{かい} 公開



盛りだくさん!

イベント情報

ものづくりに
タッチ!



絵画・舞台に
タッチ!



歴史・文化に
タッチ!



自然・科学に
タッチ!



※画像は
イメージです。

イベントが
いっぱいある!

大阪市から 夏休みのイベントのお知らせ!

◀ 楽しく、学んで、あそぼう! ▶

行ってみよう!



※画像はイメージです。
詳細は「タッチ 夏号(2026)」を
ご確認ください。

大阪(らし)の学習
折り紙体験
7/25(土)13:30~15:00
※200円(材料費は別途)

総合生涯学習センター
木のパックチャームを作ろう!
7/31(土)10:00~12:00
※無料(材料費別途500円)

総合生涯学習センター
水エコーショップ
環境学習と貯金箱作り
8/1(土)10:00~12:00
※無料(材料費別途500円)

総合生涯学習センター
ほっこりサロンPlus+
「キラキラ星☆仕分け貯金箱」
8/1(土)13:00~15:00
※無料(材料費別途要900円)

総合生涯学習センター
ほっこりサロンPlus+
「キラキラ星☆仕分け貯金箱」
8/1(土)14:00~16:00
※無料(材料費別途要500円)

大阪中之島美術館 2階多目的スペース
大阪中之島美術館×子ども本の森 中之島
出張!ほんのもりピクニック
スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー
8/1(土)14:00~16:00
※無料(材料費別途要500円)

スマホ・タブレットからのアクセス

右の二次元コードを
カメラで読み取り、
オンラインマガジンへ
アクセスしてください。

ココも
パシャ!



各イベント名をタッチすると
ホームページにアクセスできる!

立体的なワンちゃんを作りましょう!

8/1(土)13:00~15:00

- 無料(材料費別途要900円)
- 就学前~小学生(保護者同伴)
- いちようネット
- 先着10組

※持ち物:作品持ち帰り用の袋

ココも
タッチ!

総合生涯学習センター

ほっこりサロンPlus+
「キラキラ星☆仕分け貯金箱」

今年の夏は、親子でリサイクル工作にチャレンジ!!トイレット
ペーパーの芯を使って、簡単!見栄えも良い!キラキラ星☆仕
分け貯金箱を作りましょう!

8/1(土)14:00~16:00

- 無料(材料費別途要500円)
- 小学生(保護者同伴)
- いちようネット
- 多数抽選 10名
- 7/22(水)まで

大阪中之島美術館 2階多目的スペース

大阪中之島美術館×子ども本の森 中之島
出張!ほんのもりピクニック
スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー

中之島とのコラボレーション企画「出張!ほんの
森」を自由に楽しんでいた...

パソコンからのアクセス

- いちようネット
(大阪市生涯学習情報提供システム)へ
アクセスします。

<https://www.manabi.city.osaka.lg.jp>

- 子ども向け情報より「子ども向けイベントガイド」
をクリックします。
- タッチのオンラインマガジンが表示されます。



ココも
Click!

タッチについての
お問合せ

大阪市立総合生涯学習センター (指定管理者:一般財団法人大阪教育文化振興財団)
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 Tel:6345-5020 / Fax:6345-5019

発行:大阪市教育委員会

令和8年
〈2026〉

夏号

タッチ

イベント期間 7.10 金 >> 8.31 月

使い方



タッチ

このマークがある場所を「タッチ」すると、
タッチした先へ飛ぶよ！
イベント名の場合はHPにアクセス！

※マークのないイベントは、HPへアクセスできませんので、
主催者へ直接お問い合わせください。

自然・科学
に
タッチ



くらし・環境・
スポーツ
に
タッチ



歴史・文化
に
タッチ

A B C



絵画・工作・
音楽
に
タッチ



映画・舞台
に
タッチ



そのほかの
イベント
に
タッチ



キッズプラザ
大阪の
イベントに
タッチ



図書館の
イベント
に
タッチ



問合せ・申込先
一覧



お知らせ





図書館のイベント



※各施設の詳細は問合せ・申込先一覧のP21へ！

中央図書館 5階 中会議室

ユニバーサルおはなし会& 読書体験会

大きな声が出て、うろうろしても平気！いろんな特徴を持つ子どもたちみんなで楽しむおはなし会です。同会場で様々な読書バリアフリー資料の体験もできます。

🕒 8/29(土)14:30~15:00
(読書体験会は13:30~15:30)

☎ 06-6539-3304 ￥ 無料

👤 どなたでも 👤 当日先着60名

北図書館 2階 読書室

認知症ってなあに？

劇や絵本を通して認知症についてみんなで学び、キッズサポーターになりましょう！最後にマスコットのロボ隊長をプレゼント！

🕒 8/6(木)10:30~12:00 ☎ 06-6375-0410

￥ 無料 👤 小学生 👤 先着20名 📞 電話・来館

都島区民センター 第4会議室

親子でいっしょに オノマトペ絵本をつくってみよう！

「ずんずん」「わくわく」「もふもふ」「ぷしゅー」など、音や様子を表す言葉「オノマトペ」。好きな色紙を貼ったり色鉛筆などで模様を描いたりした台紙にぴったりのオノマトペを組み合わせて、世界に1冊だけの絵本をつくります。夏休みの工作にもぴったりです。

🕒 8/22(土)14:00~16:00 ☎ 06-6354-3229

￥ 無料 👤 小学生(保護者同伴) 👤 先着15名

📞 電話・来館【7/18(土)10:00~受付】

📅 8/21(金)まで

【問合せ・申込先】都島図書館

NORBDENCE福島区民センター 3階 会議室

ま〜るま〜るのびっくりばこ

大きな絵本やパネルシアター、手遊びなど楽しいプログラムがいっぱいのお楽しみ会です。かんたんなミニ工作もあります。小学生のみなさんもお待ちしています！

🕒 7/18(土)11:00~11:45

☎ 06-6468-2336

￥ 無料 👤 0歳~小学生 👤 先着40名

📞 電話・来館 👤 子どもが20名に達したら受付終了

【問合せ・申込先】福島図書館

此花図書館 えほんコーナー

夏の特別版 此花おやこ劇場の おはなし会こうさく会

絵本の読み聞かせなどの後、簡単な工作あそびをします。材料や道具も用意します。何をするかは、その日のお楽しみ！8月は夏の特別版です！（工作あそびは先着10名まで）

🕒 8/1(土)11:00~11:30

☎ 06-6463-3463 ￥ 無料

👤 4歳~6歳・小学生 👤 当日先着15名

島之内図書館 多目的室

エコバッグをつくろう！

中部環境事業センター出張所の職員の方から、環境についてのおはなしを聞いたあと、バッグに好きな絵をかって、自分だけのオリジナルのエコバッグをつくります。小学生の夏休み工作にもおすすめ！

🕒 7/31(金)13:30~15:30

☎ 06-6211-3645 ￥ 無料 👤 先着15名

👤 どなたでも（小学生未満は保護者同伴）

📞 電話・来館

🕒 日時

☎ 電話

￥ 料金

👤 対象

👤 定員

📞 申込

📅 〆切

港図書館 多目的室

港子ども劇場 夏のこども会

「港子ども劇場」のみなさんによる、大型絵本やワークショップ等の楽しいおはなし会です。

🕒 7/18(土)10:30~11:30

☎ 06-6576-2346 ￥ 無料

😊 就学前(保護者同伴) 👤 当日先着35名



大正図書館 おはなしの部屋

どうようおたのしみ会

絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアターやおはなし(ストーリーテリング)などを、いっしょに楽しみましょう!

🕒 7/18(土)・7/25(土)・8/1(土)・8/8(土)・
8/15(土)・8/22(土)・8/29(土) 14:00~14:30

☎ 06-6552-1116 ￥ 無料

😊 就学前~小学生(保護者同伴)

👤 当日先着10名

天王寺図書館 2階 集会室

いろんなことばのおはなし会(観客募集)

大阪日本語教育センターの留学生のみなさんや、天王寺区の子どもたちが、日本語や英語、中国語などで絵本の読み聞かせをします。外国語と日本語で、いろいろな絵本の読み聞かせを一緒に楽しみましょう!

🕒 8/18(火)15:00~15:45

☎ 06-6771-2840

￥ 無料 😊 どなたでも 👤 当日先着30名



浪速図書館 会議室

つよぼんのえほんげきじょう

つよぼんさんによる、大型絵本の読み聞かせなどをおたのしみください。みんなできてね。

🕒 8/23(日)16:00~16:30

☎ 06-6632-4946

￥ 無料 😊 どなたでも 👤 当日先着20名



西淀川図書館 多目的室

夏休み工作教室

「ちょきんばこをつくろう!」

工夫がいっぱいの楽しい貯金箱をつくります!夏休みの宿題にもぴったりですよ!

🕒 8/16(日)10:30~12:00 ☎ 06-6474-7900

￥ 無料 😊 小学生 👤 先着15名

📞 電話・来館【7/10(金)10:00~受付】

※当日牛乳パック(1000ml)洗って乾かしたものを持参。



淀川図書館 多目的室

夏のおたのしみ会スペシャル!

8月の土曜日は、淀川図書館のおたのしみ会に参加してスタンプを集めよう!8月1日・8日・15日のおたのしみ会でスタンプを集めて、8月22日の「夏のおたのしみ会スペシャル!」に参加すると、プレゼントがもらえます!

🕒 8/22(土)15:00~16:00 ☎ 06-6305-2346

￥ 無料 😊 どなたでも 👤 当日先着30名



東淀川図書館 多目的室

「とことこ」のかみしばいの時間

ボランティアグループ「とことこ」のみなさんが、子どもから大人まで楽しめるかみしばいを読んでくれるおたのしみ会です。

🕒 7/18(土)14:00~14:30 ☎ 06-6323-5476

￥ 無料 😊 どなたでも 👤 当日先着20名



東成図書館 多目的室

ケーキ箱に自分のお部屋をつくってみよう!

ケーキ箱の大きさの紙箱の中に、ベッドや机をおいて、すてきなお部屋をつくってみよう!「KIWI Labo.(キウイラボ)」のみなさんが、インテリアのプロ「インテリアコーディネーター」として、アドバイスしてくれますよ。

🕒 8/21(金)10:30~12:30 ☎ 06-6972-0727

￥ 無料 😊 小学生(保護者同伴) 👤 先着12組

📞 電話・来館【7/17(金)11:00~受付】

🕒 8/19(水)17:00まで



生野図書館 会議室

あじさいブッククラブ 夏のおはなし会

生野区内の小学校で絵本の読み聞かせをしているボランティアグループ「あじさいブッククラブ」によるおはなし会です。絵本の読み聞かせや紙芝居など、特に小学生におすすめの楽しいプログラムをご用意します。

🕒 7/28(火)11:00~11:30

☎ 06-6717-2381 ￥ 無料

😊 どなたでも (特に小学生におすすめの内容です)

👤 当日先着30名

旭図書館 多目的室

おはなしらんらの夏のおたのしみ会

「おはなしらんら」のみなさんによる、大型絵本のよみかけやパネルシアター、おはなし組木など、楽しいプログラムがいっぱいです!みんなきてね。

🕒 7/26(日)11:00~11:40 ☎ 06-6955-0307

￥ 無料 😊 どなたでも 👤 当日先着40名

城東図書館 多目的室

夏のこども会

人形劇デュオ“あっちゃんまりっぺ”による、楽しいプログラムです。みんなできてね。

🕒 8/2(日)14:00~14:40 ☎ 06-6933-0350

￥ 無料 😊 どなたでも 👤 当日先着36名

鶴見図書館 多目的室

世界で1さつのおノマトペ絵本をつくろう

「ずんずん」「わくわく」「もふもふ」「ぶしゅ〜」など、音やうすを表すことば“オノマトペ”。好きな色紙をはったり、色えんぴつなどで模様を描いたりした台紙に、ぴったりのオノマトペをくみあわせて絵本をつくります。

🕒 8/2(日)10:30~12:30 ☎ 06-6913-0772

￥ 無料 😊 小学生(3年生以下は保護者同伴)

👤 先着12組 📞 電話・来館 🗓 8/1(土)まで

阿倍野図書館 多目的室

リサイクル工作教室「昆虫から見た世界〜環境についてのおはなしと、うごく羽のクラフトを作ろう!〜」

環境について考え、リサイクル工作をします。

🕒 7/24(金)14:00~15:00 ☎ 06-6656-1009

￥ 無料 🕒 就学前~小学生(保護者同伴)

👤 先着20名 📞 電話・来館

住之江会館 会議室

図書館 de ECO

「エコブローチをつくろう!」

牛乳パックを活用した台紙にいろいろな種や実を張り付けて、オリジナルのブローチをつくります。

🕒 8/2(日)10:30~12:00

☎ 06-6683-2788 ￥ 無料 👤 先着15名

😊 どなたでも (低学年以下は保護者同伴)

📞 電話・来館【7/10(金)10:00~受付】

【問合せ・申込先】住之江図書館

住吉図書館 多目的室

夏休みおはなし会

ボランティア「さきざき会」のみなさんが楽しいおはなし(素話)をします。

🕒 ①7/26(日)15:00~15:30

②8/23(日)15:00~15:30

☎ 06-6606-4946 ￥ 無料

😊 どなたでも 👤 当日先着25名

東住吉図書館 えほんコーナー

おはなし会

絵本のよみかけなどをします。どなたでもご参加いただけます。

🕒 ①7/18・25・8/1・8・15・22(土)14:00~14:30

②8/13(木)11:00~11:30

☎ 06-6699-7000 ￥ 無料

😊 どなたでも 👤 当日先着20名

※各施設の詳細は問合せ・申込先一覧のP21へ!

平野図書館 1階エントランスホール

こども連歌の会

和歌の上の句と下の句をリレーのように順に作っていく連歌。平野図書館連歌会と平野法楽連歌会の先生が教えてくれるので、初めての人も安心です。平野に縁の深い連歌をみんなで楽しみましょう!

🕒 8/4(火)14:00~16:00

☎ 06-6793-0881 ￥ 無料

👤 小学生~中学生

👤 当日先着30名

西成区民センター 会議室2-1

おたのしみ会 夏の特別版

西成絵本の会のみなさんによる絵本の読み聞かせなどの楽しい催しです。

🕒 7/28(火)11:00~11:45

☎ 06-6659-2346 ￥ 無料

👤 0歳~小学生(乳幼児は保護者同伴)

👤 当日先着20名

【問合せ先】西成図書館

イベントの問合せ・申込先一覧

(五十音順)

※図書館の情報はP21~

▶ 阿倍野市民学習センター

☎ TEL 06-6634-7951

FAX 06-6634-7954

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階

🚶 Osaka Metro谷町線「阿倍野」/ 御堂筋線「天王寺」/ JR各線「天王寺」/ 近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」

▶ 阿倍野防災センター

☎ TEL 06-6643-1031

FAX 06-6643-1040

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-13-23

🚶 Osaka Metro谷町線「阿倍野」/ 御堂筋線「天王寺」

▶ おおさかATCグリーンエコプラザ

☎ TEL 06-6615-5888

FAX 06-6615-5890

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

🚶 Osaka Metroニュートラム「トレードセンター前」

▶ 大阪くらしの今昔館

☎ TEL 06-6242-1170

FAX 06-6354-8601

〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20 大阪市立住まい情報センタービル8階

🚶 Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急線「天神橋筋六丁目」/ JR大阪環状線「天満」

▶ 大阪国際交流センター

☎ TEL 06-6773-8989

FAX 06-6773-8421

※イベント実施会場は「天王寺区民センター」です。

▶ 大阪市健康局生活衛生部生活衛生課 「市民体験型学習会」係

☎ TEL 06-6208-9991

※イベント実施会場は「中央図書館 5階 中会議室」です。

中央図書館・学校図書館支援グループ

「学校図書館の活性化」について

「学校図書館活用推進事業」（平成 27 年度～）は、魅力ある学校図書館づくりを行うことで、児童生徒の読書活動を推進し、読書意欲の一層の醸成を図るため、学校図書館を活用した教育活動の充実に向けて取り組んでいる。

事務局機能は、中央図書館地域サービス担当学校図書館支援グループが担い、教育委員会事務局指導部ほか関係部署間での総合調整機能を担う「学校図書館活用推進ワーキンググループ」において、事業の進捗管理を行っている。

さらに、区役所と連携し、学校司書配置計画の策定やボランティア募集などを進めている。

●学校司書の配置

- ・ 令和 4 年度から学校司書（会計年度任用職員）を全小中学校及び義務教育学校に配置し、選書等の蔵書管理や、調べ学習支援、学校図書館の環境整備等に従事している。1 人の学校司書が 2～3 校兼任し、各校週 1 回 6 時間勤務している。
- ・ うち各区に 1 校、週 4 日 30 時間勤務で 1 校専任の主幹学校司書を配置した。主幹学校司書は、学校図書館運営業務のほか、業務で得られた実践事例やノウハウを他の学校と共有し、他の学校の学校図書館の改善につなげる役割も担っている。
- ・ 令和 5 年度からは、25 学級以上の大規模校に学校司書の加配を行っている。
- ・ 学校の統合に伴う財政効果創出インセンティブ制度の活用により、各区 1 校に加えて令和 7 年度から 3 校、令和 8 年度からは 4 校に主幹学校司書を配置している。
- ・ 学校図書館コーディネーターを中央図書館に 4 名配置し、学校司書の支援や学校図書館活用事例の収集・周知などを行っている。
- ・ 令和 8 年度からは、急増する日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実に向けて、学校図書館の機能を活用した外国につながる児童生徒への支援事業として、モデル校 8 校に、「多文化共生支援担当学校司書」6 名を配置した。

●蔵書構成充実に向けた取組

- ・ 指導部と学校運営支援センター、中央図書館の連携のもと、「学校図書館の蔵書構成の充実に向けた取組み」を行った。中央図書館から、分野別蔵書比率の分析シートと、選書のための図書リストを学校に提供し、学校司書が蔵書比率の分析と選書案を学校に提案した。その提案をもとに、学校が申請した、充実が必要な分野の図書を整備するために必要な図書購入予算を措置した。

●学校図書館支援ボランティアへの支援

- ・ 小学校の学校図書館支援ボランティア、中学校での学校元気アップボランティアの協力を得て、地域協働による学校図書館活性化を進めている。令和 7 年度のボランティア総数はのべ 2,612 人を数え、各市立図書館でのボランティア向け講座、交流会を 18 回実施するなど、支援に努めた。

●その他

- ・ 年 1 回教員向け研修を開催。令和 7 年度は 8 月に「学校図書館入門講習」を開催し、41 名の参加があった。

	主催事業(実施件数) ※1			区役所等主催行事への協力・参加(実施件数)				子ども読書の日記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)	
	絵本の読み聞かせ(含ストーリーテリング、紙芝居)	乳幼児向けおたのしみ会	その他(人形劇、工作教室など)	乳幼児健診時の読み聞かせ	区役所等主催のイベントでの読み聞かせ	絵本展	その他(講座、催し、図書貸出など)	内容	参加者数	内容	参加者数
中央 (西区)	144	24	6	0	3	0	1	キップコップ春のおたのしみ会 4/29	35	「おはなしたのしいでえ！in大阪」フェスティバル 11/9・10	1,912
								映画「松岡享子 お話の種まきをした人」上映会&トーク 5/6	300	中高生のための人形浄瑠璃文楽ワークショップ 11/16	65
								恐竜画家CANワークショップ 恐竜おえかきひろば 5/11	53	タイの絵本・遊びにふれる異文化体験ひろば 11/22	113
								えほんのじかん in 江戸堀公園 5/3(自動車文庫)	26	えほんのじかん in 中津公園 11/8(自動車文庫)	17
北	46	7	3	0	0	4	0	春のおたのしみ会 4/26	22	絵本の会北による秋のおはなしスペシャル 10/25	6
都島	46	11	2	0	0	0	0	おはなしらんらの絵本の読みがたり 4/23	12		
								ふあいと！の絵本のじかん 4/30	11		
								ふあいと！の絵本のじかん 5/7	10		
福島	38	10	1	0	0	0	0	ま〜るま〜るのびっくりばこ 4/29	34	えほんde工作 10/25	19
										絵本のひろば 11/3	26
此花	32	9	13	0	0	2	12	春の子ども会 4/26	8	秋の子ども会 10/25	19
島之内 (中央区)	42	22	5	0	0	0	2			クリスマスリースクラフトを作ろう 11/11	19
								春の子ども会 4/26	10	工作教室「いたずらねこをつくろう!」 11/1	15
港	20	0	2	0	0	0	28	春のこども会 4/26	13	秋のこども会 10/25	7
										みんなで人形劇を楽しみましょう！ 10/29	2
										港子ども劇場 秋のおたのしみ会 10/30	6
										紙芝居一座せんの風かみしばいをたのしもう！ 11/1	6
										多文化にふれる えほんのひろば@港図書館 11/16	78
大正	49	50	0	0	0	0	11	ひまわりの会のわくわくこども会 5/17	17	アナンシのおはなし会 11/16	1
天王寺	59	11	3	0	0	0	6	ぼちぼちのおはなし会 4/26	8	秋のおはなし会 10/25	12
浪速	38	11	2	0	0	1	41	ぐるーぶぬ！劇場 4/26	11	七五三 成長を祝うえほんの贈り物 11/15	3
西淀川	32	26	1	0	0	0	0	パタポン春のおはなし会 4/19	16	パタポン秋のおはなし会 10/18	9
										ぽけっと秋のこども会 11/3	27
淀川	36	26	2	0	0	0	1	むか〜し昔、あったとき 4/20	18	おはなしくるりんパッ！ 10/25	10
東淀川	23	21	2	0	0	0	0	「とことこ」のかみしばいの時間スペシャル 4/19	7	とことこのおはなし会スペシャル 11/1	11
東成	60	11	3	0	0	0	8	おはなしびっくり箱 4/20	50	秋のおたのしみ会「ぐるーぶぬ！」の楽しい人形劇 10/19	54
生野	10	20	4	0	0	0	3	絵本の会スペシャル！ 5/10	25	秋のこども会 ぐるーぶぬ！劇場 11/15	43
旭	51	20	0	0	10	1	25	あっちゃんまりっぺのにんぎょうげき 4/27	40	秋のおたのしみ会 -旭図書館設立50周年スペシャル- 10/25	22
城東	37	12	7	0	0	0	12	春のおはなし会 4/19	30	秋のこども会 11/1	30
								春のこども会 4/26	24		
								でんでんむしのおはなし会 4/20	18	”くみどり”の秋風ライブ 10/19	35
阿倍野	58	38	8	0	23	1	4	つるみにんぎょうげきフェスタ 5/11	101		
								ぴよぴよ絵本のひろば 4/25	22	パネルシアターをたのしもう！ 11/8	39
								春のおたのしみ会 4/29	13		
								小学生のためのおはなし会スペシャル！ 5/3	8		
住之江	49	11	2	0	0	1	0	こちょこちょおたのしみ会 5/8	18		
								えほんであそぼ! 4/26	24		
住吉	100	48	13	0	0	1	10	春のおはなし大会 午前の部 4/20	34	ねこの人形教室 10/19	20
								春のおはなし大会 午後の部 4/20	10	パレットのおはなし会 午前の部 11/2	29
										パレットのおはなし会 午後の部 11/2	28
										英語絵本のおはなし会 11/16	14
東住吉	61	10	1	0	0	0	1	赤ずきん&ドロップスの春のおはなし会 5/3	11	秋のえほんひろばとおはなし会 10/18	48
平野	22	30	6	0	1	2	2	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会 春のスペシャル！ 4/27	54		
西成	18	11	1	0	0	0	1	るんるん絵本のひろば 4/26	4	るんるん絵本のひろば 10/25	7
合計	1,101	462	93	0	38	14	170		1,097		2,752

※1 子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバルは含まず

令和7年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(令和8年4月1日現在)

[資料5-1]

	幼児期読書環境整備事業								学校との連携							学校図書館支援ボランティア向け講座		学校図書館実践交流会	ボランティア養成・ステップアップ講座		区の子どもの読書活動推進連絡会	自動車文庫ステーション数
	配本事業(実施施設数)				ボランティア派遣(実施施設数)				貸出冊数	図書館見学	調べ学習支援	おはなし会等読書支援	学校図書館整備支援(回数)	体験学習(人数)	図書館主任会への参加	回数	参加者(延人数)		回数	参加者(延人数)		
	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設														
中央(西区)	4	4	0	2	3	4	0	11	6,134	27	18	90	0	15	0	1	5		18	567	7/8	1
北	3	11	3	6	3	6	2	4	4,280	18	43	31	0	6	0	0	0		1	5	7/16	4
都島	1	5	2	3	1	3	0	0	2,312	8	18	25	0	8	0	1	6	2/27	3	7	6/24	3
福島	3	8	3	3	3	7	4	1	1,992	12	28	128	0	12	0	0	0		0	0	6/26	1
此花	1	5	0	3	1	6	0	3	1,294	8	10	9	0	5	0	0	0		0	0	6/27	4
島之内(中央区)	7	8	0	3	5	9	0	2	1,761	7	15	4	0	6	0	0	0		2	10	6/27	1
港	1	8	1	2	1	5	1	3	3,160	10	36	25	0	10	0	0	0		1	1	7/3	2
大正	4	7	4	3	1	5	1	1	793	6	13	85	0	8	0	0	0		0	0	6/24	2
天王寺	6	6	2	1	6	2	1	0	7,491	19	36	138	0	3	0	1	5	2/27	2	9	7/8	1
浪速	2	13	0	1	2	13	0	2	2,663	7	5	22	2	6	0	0	0		0	0	6/27	1
西淀川	3	14	4	7	2	16	3	4	1,764	8	12	136	1	2	0	1	9		5	13	6/3	4
淀川	3	14	4	5	3	6	1	3	2,958	5	35	39	0	7	1	0	0		1	5	7/9	9
東淀川	1	7	1	7	0	8	0	0	1,194	5	13	21	0	7	0	0	0		0	0	7/8	12
東成	6	6	1	5	4	7	2	4	1,490	12	22	66	0	9	0	0	0		2	3	7/18	2
生野	2	7	7	3	2	5	0	2	3,298	12	32	130	0	9	0	0	0		3	5	7/9	3
旭	3	11	0	3	3	12	0	0	1,954	7	15	130	0	5	0	0	0		1	1	6/26	3
城東	2	7	3	7	2	6	1	6	5,522	22	29	90	0	34	0	1	8		0	0	6/24	9
鶴見	3	10	1	4	1	6	2	3	4,710	6	11	234	0	22	0	1	1		6	105	7/2	4
阿倍野	1	7	0	1	1	5	0	0	1,736	13	23	263	0	0	0	4	32		4	4	6/26	4
住之江	1	9	3	2	1	8	2	2	4,065	17	41	135	0	8	0	2	15	1/22	2	5	7/3	8
住吉	3	11	4	5	2	11	3	4	3,225	11	26	179	0	16	0	0	0		4	6	7/4	7
東住吉	0	10	1	4	0	8	1	3	5,665	7	20	59	0	6	1	2	12	2/5	0	0	7/15	5
平野	4	12	2	6	3	8	0	0	2,828	6	21	108	0	22	0	0	0		4	14	7/8	11
西成	2	9	0	4	2	7	0	2	3,546	8	69	12	0	7	1	0	0		1	5	7/30	2
合計	66	209	46	90	52	173	24	60	69,701	234	573	2,069	3	218	3	13	88		42	198		103

■大阪市立図書館×セレッソ大阪「2026 読書推進プロジェクトー本を読んで、人生を豊かにー」

大阪市は、平成 28 年 2 月に大阪市をホームタウンとするセレッソ大阪と連携協力に関する包括協定を締結し、スポーツの振興、教育、広報など様々な分野においてそれぞれの活動の充実を図り、地域連携を積極的に推進しています。

大阪市立図書館とセレッソ大阪は、これまでも読書を通じて豊かな心を育むことを目的とし、協働してさまざまな活動を実施してきました。

令和元年度からはこれまでの個々の取り組みを大きな枠組みに再編し、「読書推進プロジェクトー本を読んで、人生を豊かにー」として、大阪市内外の企業や団体とともにさまざまな活動を実施しています。令和 8 年度もひきつづき、市民の皆さんに、読書とともにサッカーやスポーツも親しんでいただく一助になるような魅力的な活動を進めます。

1. 「読書推進プロジェクト」オリジナル読書手帳の配布

◇ 対象者

大阪市立小学校の全児童(令和 8 年 4 月現在)

◇ 配布方法

各大阪市立小学校、支援学校小学部を通じて配布

◇ 概要

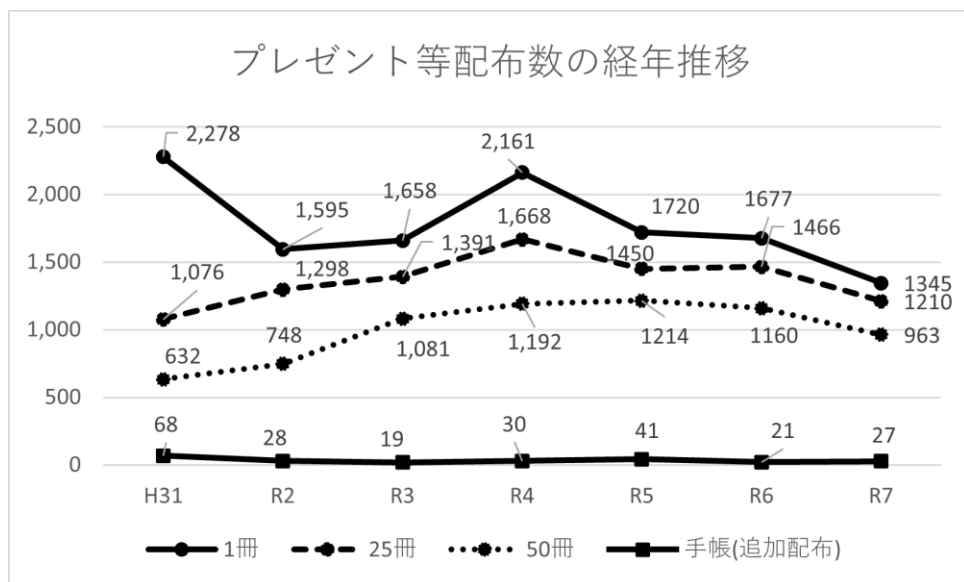
この手帳には、読んだ日や本のタイトル、読んだ本の感想を記入できるほか、セレッソ大阪の選手などの「おすすめの 1 冊」等が紹介されています。桜のマークに色をぬることで、読んだ本を評価でき、50 冊分記入できます。セレッソ大阪のチームマスコットや選手らがあしらわれた親しみやすいデザインです。51 冊以上読んだら、セレッソ大阪オフィシャルウェブサイトから追加のページをダウンロードすることができます。

◇ プレゼント引換期間

令和 8 年 7 月 4 日(土曜日)から令和 9 年 1 月 31 日(日曜日)まで

2. 大阪市立図書館やセレッソ大阪ホームゲームでのセレッソ大阪選手おすすめ図書紹介

3. 「セレッソ大阪巡回展示」にあわせたオリジナルしおりの配布、コラボイベント



令和 7 年度こども本の森中之島 読書活動に関する報告

1 入館者について

- ア 入館者数 151,199 人（参考：令和 6 年度 130,793 人）
- イ 開館日数 306 日（参考：令和 6 年度 306 日）
- ウ 入館制限 1 日 4 回の入館時間帯を設定し、1 回あたり上限 150 人
- エ 入館者層 <こども連れの入館者> 49%
<こどもの年齢>未就学児…56%、小学 1～2 年生…17%
小学 3～4 年生…16%、小学 5 年生以上…11%

2 自主事業イベントの実施（代表的なもの）

ア こども本の森ピクニック

目 的：予約がない方でも本の森の雰囲気味わえるよう、館外にて自由に読書を楽しむ芝生エリアを展開し、スタッフによる読み聞かせを定期的に行い、一般の方に広くこども本の森 中之島を知ってもらう。

実施回数：10 回

場 所：京阪シティーモール、水晶橋、グラングリーン大阪うめきた公園、三菱 UFJ 銀行大阪ビル本館、大阪中之島美術館 外

参 加 費：無料

参加者数：1,588 人

イ 万博開催期間限定特別夜間開館

目 的：万博開催期間の 4 月 13 日(日)～10 月 13 日(月・祝)の土日の 17:30～19:00 までを特別夜間開館し、万博に伴って世界各国、日本各地から大阪に来る人達にこども本の森 中之島をより多くの人に周知する機会とする。

実施回数：54 回

参加者数：9,392 人

ウ 今日から万博！もりびと（スタッフ）によるよみきかせ会

目 的：大阪・関西万博開催初日に、万博の機運を高めることと、万博関連本を紹介することで、万博に足を運んでみようという気持ちが生まれることや興味を持ってもらう。

実施回数：4 回

参加者数：200 人

3 学校園見学受け入れ状況

ア 学校園数 81 学校園

イ 参加児童数 2,452 人 引率 389 人

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署				
			実施○	実施せず×	内容変更△		新規◎		乳幼児	小学生	未成年	中学生以上	成人	保護者等									
			R3	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画											
北区	子育て支援ルーム 絵本読み聞かせ	子育て支援ルーム「Kikki(キッキ)」での絵本の読み聞かせ	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○					○			区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	子育て・教育課 (子育て支援室)
北区	絵本で学ぶ平和学習	戦争、平和に関する絵本・漫画の展示	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			8月13日～20日開催 戦争、平和に関する絵本の展示	継続実施	子育て・教育課 (教育担当)
都島区	(区広報での学校図書館支援ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募集記事掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○			7月、11月の2回実施	7月、11月の2回実施	保健福祉課 (こども教育)	
福島区	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募集記事掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○			12月号の広報紙に掲載	12月号の広報紙に掲載予定	保健福祉課 子育て教育	
福島区	子育て講座 赤ちゃん広場	月1回開催。0歳児の親子が50組程度参加。会場に絵本コーナーを設置し、赤ちゃん向け絵本などを展示、紹介する。区内保育所施設等の保育士が絵本の読み聞かせを実施。	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○				○			月1回開催。0歳児の親子が毎月40組程度参加。 区内保育所施設、子育て支援室、子ども・子育てプラザ、子育て支援センターの保育士が読み聞かせを行った。絵本コーナーを設置し、0歳向けおすすめ絵本を展示、紹介した。	月1回開催。0歳児の親子が50組程度参加。 区内保育施設等の保育士が読み聞かせを実施。 0歳向けおすすめ絵本の展示、紹介。	保健福祉課 子育て教育	
此花区	えほんのひろばによっといで！	500冊以上の絵本の展示と読み聞かせ	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○			わくわく体験フェスタ(他課と共催)の一つのコーナーとして開催した。 予約制を辞めたことで、当日参加がしやすい環境になりました。他のコーナーに来庁した区民が「えほんのひろばによっといで」のコーナーに立ち寄る区民が多く、好評でした。 「えほんのひろばによっといで」だけでの開催になると、事前案内で参加人数がどのようになるか未知である。	R8度についてもR7年度と同じ曜日、時間で実施予定。	保健福祉課(子育て教育)	

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署				
			実施○	実施せず×	内容変更△	新規◎	R3	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画				乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上
中央区	中央区子ども読書活動推進事業	島之内図書館や中央区内の学校図書館、まちライブラリー等と連携してイベントを開催するほか、区広報紙での情報発信、表彰等を実施する。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・読書等に取り組んだ児童等(学校長推薦)を表彰 ・中央区の読書活動(島之内図書館「多文化コーナー」)を区広報紙1月号で紹介	・読書等に取り組んだ児童等(学校長推薦)を表彰 ・読書活動等を区広報紙にて情報発信	市民協働課(市民活動支援・教育)
西区	多様な活動主体のネットワークづくり事業『えほんpicnic』	えほんpicnic実行委員会と共に、地域資源である鞆公園を活用し、「都心の中で自然とふれあう」「人とふれあう」ためのきっかけづくりを目的に、絵本の貸出や読み聞かせ、ワークショップ、マルシェ出店などを実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和7年10月11日(土)に鞆公園にて開催した。絵本の貸出や読み聞かせ、不要となった絵本を来場者同士で交換するなど、多くの来場者が絵本を通じての交流を楽しんだ。	実行委員会が主催で区役所は「後援」として令和8年10月10日(土)実施予定。	地域支援課
西区	食育なつまつり	展示コーナーでは食に関する絵本を展示し、自由に読むスペースを設置。「たべものシアター」ではボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施。	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	計画通り実施。	ボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施予定。	保健福祉課
西区	にしく☆リーディングチャレンジ事業	区内の児童・生徒を対象に、読書習慣の形成、表現力・言語能力の向上、および読書活動の定着・拡大を図るため、以下の取組を展開する。 ①図書の読み聞かせ ・地域ボランティアや市立中央図書館と連携し、区内小学校を対象に「読み聞かせ」を実施する。 ②ほんのしょうかいバトル ・地域や企業、中央図書館等と連携し、児童生徒が「おすすめの本」を発表し合って投票でチャンプ本を決定する本の紹介コミュニケーション・ゲーム大会を開催する。														◎	○	○			①図書の読み聞かせ 2学期(8月下旬)から順次各学校にて読み聞かせをスタート。 ②ほんのしょうかいバトル ・12月12日開催予定 産官民連携によるイベント開催に向け、地域の関係団体や協力企業、学校との連携を図る。 (9月より広報開始予定)	総務課(教育)	
西区	地域福祉活動推進事業	各子育てサークルで、就学前のお子さんと保護者が一緒に楽しめるような遊びを提供する(絵本の読み聞かせや手遊びなど)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	中央図書館の幼児期図書ボランティア「絵本の会西」が西区子育てサークルを訪れ、読み聞かせを実施した。	中央図書館の幼児期図書ボランティア「絵本の会西」が西区子育てサークルを訪れ、読み聞かせを実施する(13地区で実施予定)	保健福祉課
港区	地域の強みを活かした教育力向上事業(絵本ひろば)	絵本ひろばのコーディネーターやファシリテーターの講師謝礼等を区役所が負担し、学校で「絵本ひろば」を開催できるように支援し、子どもの主体的な読書活動を促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			・実施校4校 田中小・弁天小・磯路小・築港小(計1,084名が参加)	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署	
			実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎										主たる対象者:○							
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	R6 実績	R7 計画	R7 実績	R8 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上	成人 保護者等			
港区	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報紙、ホームページやチラシの配架により、学校図書館支援ボランティアを募集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	・区の広報紙に掲載 ・区ホームページ掲載 ・区役所内にチラシ配架	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)
大正区	すくすく子育て！ベビキッズWEEK	子育てコンシェルジュによる子育て支援施設・制度の案内や、保育所・幼稚園についての情報発信や入所申請手続きの説明。すくすく子育て！ベビキッズWEEKの中での読み聞かせを実施。	△	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○				○	8月15日から8月28日まで、ポスター展示により大正図書館からの情報発信を行った。	8月13日から8月28日まで、ポスター展示により、大正図書館からの情報発信を行うとともに読み聞かせ(8月24日)を行う。	子育て支援ネットワーク連絡会(保健福祉課子育て支援室)
大正区	大正区親子のつどい	主任児童委員会で、地域の子育てサークルの紹介を兼ねて、遊びやゲーム、舞台発表をする。絵本の会大正が読み聞かせ等を20分×2回実施。	×	×	×	△	△	○	○	○	○	○	○	○			○	5月25日実施。 イベントブースに絵本のコーナーを設置し、大型絵本や絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらった。プロジェクターを使用し、大型スクリーンに映し出したことで遠くからでも楽しむことができた。	5月24日実施済み。 イベントブースに絵本コーナーを設置し、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらった。 親子で床に座り、読み聞かせの体験を通じて、絵本に親しみを感じてもらう機会を提供できた。	保健福祉課(福祉G)
天王寺区	子育て支援事業	「あそびましょ～」の中で絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせの時間を10分くらい組み込んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	毎月第4金曜日(午前・午後の二部制)を基本として、各月8組の事前予約制で開催し、毎月問い合わせがあり、午前午後とも好評を得ている。	毎月第4金曜日(午前・午後の二部制)を基本として、各月8組の事前予約制で開催し、絵本を介した親子のふれあいや絵本を通してあそぶ機会を提供する。	保健福祉課子育て支援室
天王寺区	こどもフェスタ(子育て愛あいフェスティバル)	区内の子育て支援機関・団体等が集まり、参加の親や子とのふれあいを通じて、いろいろな子育て支援の場に関する周知を行うとともに、地域のみんなで支えあう子育て環境の充実を図ることを目的として開催。会場内に図書館コーナーとして親子で絵本に触れる機会を設けるとともに、ボランティアによる読み聞かせを行う。					◎	○	○	○	○	○	○				○	本イベントは11月1日(土)開催。天王寺図書館協力のもと、絵本を通して親子がゆったりと触れ合えるコーナーづくりができた。特に、天王寺図書館ボランティアによる「読み聞かせタイム」は、保護者からも好評であった。	本イベントは11月7日(土)開催予定。令和5年度よりブース形式で開催。天王寺図書館協力のもと、絵本を通して親子がゆったりと触れ合えるコーナーづくりを行う。	保健福祉課子育て支援室

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署		
			実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎										主たる対象者:○								
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	R6 実績	R7 計画	R7 実績	R8 計画	乳 幼児	小 学生	未 成年 以上	中 学 生	保 護 者 等				
浪速区	浪速区親子フェスタ	区役所と区内の子育て関連施設とで構成される子育て支援ネットワーク会議(通称:なにわっ子ネット)により開催。8月に「なにわっ子フェスタ」(ミニ絵本展・絵本読み聞かせ・おもちゃ作り・ゲームなど)と、1月に「なにわっ子えほんフェスタ」(絵本展・読み聞かせ等)の年2回開催。	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○				○		・7月になにわっ子フェスタを浪速スポーツセンターで開催。約300人の親子が参加し、なにわえほんの会からの大型絵本の読み聞かせを2回実施した。また、浪速図書館のブースでは浪速図書館選定の絵本の展示を行った。毎回好評で親子で楽しんでいた。 ・1月、なにわっ子えほんフェスタを浪速区役所で開催し約120名が参加。なにわえほんの会から大型絵本の読み聞かせを2回実施した。近隣の保育施設からの参加もあり好評であった。様々な絵本のジャンルを浪速図書館が選定して展示したことで興味関心が広がった。	・7月になにわっ子フェスタを浪速スポーツセンターで開催予定。 ・1月に浪速区役所でなにわっ子えほんフェスタを開催予定。	子育て支援ネットワーク会議 (保健福祉課子育て支援室)
西淀川区	図書に親しみ多世代が交流する環境作り事業	児童生徒の教育水準の向上や若者から高齢者まで世代を超えた生涯学習を推進していく上で、身近な場所に手軽に図書に親しむ又は自習を行えるような環境を整備していくために、本区では平成25年度末から2か所(姫里地域・佃地域)に「に～よん文庫」という図書・自習スペースを設けている。に～よん文庫はボランティアによる運営を行っており、平成27年度からさらに1か所(川北地域)が開設している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・令和7年度は令和6年度並みの利用者があった。 ・間借りして事業を行っているため、に～よん文庫の利用者が設置施設の利用者に偏る傾向がある。	・図書・自習のスペース「に～よん文庫」の運営等を通じ、図書に親しみ関心を持つ環境を整備するとともに、多世代交流を図る ・「に～よん文庫」のイベントの実施、新着蔵書リストの作成公開等により周知啓発を図る	地域支援課
淀川区	生涯学習推進事業「ものがたりのちから」	絵本の読み語りのプログラムや絵本コーナーを設置するなどし、絵本の魅力、区の自然や歴史、世代間で伝えたいことを、さまざまな形の「ものがたり」として子ども達に伝えていくことを目的にしたイベントを実施する。	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		令和8年1月28日開催 参加者210名 読み聞かせボランティアによる読みかたりや葉作りを実施 参加人数を増やす為の広報を工夫する	令和9年1月24日開催予定 令和7年度と同規模で実施予定	市民協働課	
淀川区	生涯学習推進事業「学校図書館ボランティア講座」	区内小中学校を拠点に活動する学校図書館ボランティアの新たな担い手発掘を目的として、読書と子どもの関わりに興味のある区民を対象に学校図書館ボランティア活動の研修を行い、また既に活動中の学校図書館ボランティアを対象に学校の図書室で活動するために役立つ知識や技術を身につけるための研修を行うことにより区における子ども達の読書環境の充実につなげる。	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×				○					市民協働課

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署
			実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎										乳幼児	小学生	未成年	中学生以上			
東淀川区	ブックスタート事業	平成25年11月から事業開始。当区で絵本を3種類選定し、その中から養育者の希望する絵本を配付。現在、8施設にて事業実施中。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○						保健福祉課 (保健子育て)
東成区	電子書籍を活用した読書活動推進事業	東成区では、児童生徒が誰一人取り残されることなく、一人一台学習用端末を活用し、自由に読書活動を行うことができる機会を提供することで、読書活動の定着と不読率の改善を図る。	-	◎	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○		令和7年度利用実績は、中学生が6.6%、小学生が51.3%。一定数の利用者はいたものの、特に中学生の利用率の伸び悩みが顕著であった。	事業終了	市民協働課
東成区	東成区子育てふれあいサークル大集合	区民ホールでの乳幼児と保護者、マタニティ世代向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	○	×	△	△	△	△	△	△	○	○	○			○	11月5日に「すすく・つながる だいぼうれん」(子育てイベント)を実施。絵本の読み聞かせコーナーを設置し東成図書館の絵本を並べてボランティアの方に読み聞かせをしていただいた。	8年度も同様のイベントを実施し、絵本の読み聞かせコーナーを設置予定	保健福祉課
東成区	にこにこ広場	月1回6カ月の乳児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	月1回の読み聞かせを実施した。	月1回の読み聞かせを実施していく	保健福祉課
東成区	子育てネットワーク構築支援事業	子育て中の保護者が子どもと一緒に楽しみながら各子育てサークルや子育てイベントで遊びを提供する(パネルシアター、大型絵本読み聞かせ、手遊び等)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	子育て支援の機関が区内のサークルを巡回し、絵本の読み聞かせや手遊びを実施した。	子育て支援の機関が区内のサークルを巡回し、絵本の読み聞かせや手遊びを実施する。	保健福祉課
東成区	読書活動の推進にかかる東成区長表彰	児童の読書習慣の定着につなげるためのきっかけづくりとして、読書の努力が認められる児童に対して、東成区長からの表彰を行う。									◎	○	○	○				読書手帳等の記録により、本を50冊読んだことが確認できた児童に対し、東成区長からの表彰状を授与する。	市民協働課
生野区	学校支援ボランティア人材バンク事業	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHP等で掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHPIに掲載した。学校図書館の開館支援で2名が活動し、学校の要望について満たすことができた。	継続実施	地域まちづくり課

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署		
			実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								主たる対象者:○										
			R3	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画	乳幼児	小学生	未成年以上	中学生以上	保護者等				
生野区	生きる力を育む絵本プロジェクト	・3か月健診時のブックスタート事業の紹介 ・「にこにこいくのっこだより」での絵本紹介 ・絵本イベント(H30年9月22日開催) ・絵本ボランティアの養成 ・キッズルーム(授乳室あり)の環境整備 ・絵本ボランティアによる3か月及び1歳6ヶ月健診時の絵本の読み聞かせ ・区役所庁舎各階窓口待合に来庁者用の絵本棚を設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	●実施状況・成果 ・健診時に、ボランティアによる絵本読み聞かせを実施した。 ・3か月児健診の対象となる全てのお子さんに、小冊子「いくみんのほんだな」を配布した。必要に応じて、多言語版の小冊子について案内・配布した。 ・区役所内の子育て相談窓口やキッズコーナー等に、こどもの発達段階に応じた絵本を配置した。 ・子育て支援イベントや一斉入所面接の際に絵本コーナーを設け、多言語絵本も用意するなどして、親子がさまざまな絵本に親しめる環境を整えた。 ●課題 外国籍親子の増加に伴い、外国籍家庭の母国語読み聞かせやブックスタートの目的について周知が難しい状況がある。	・健診時に絵本ボランティアによる絵本読み聞かせを実施する。 ・区役所内の絵本環境を整備する。 ・ブックスタート配本場所を案内するとともに、実施施設と連携して施設に掲示を行うなど、周知を強化する。 ・外国籍の多言語絵本読み聞かせボランティアスタッフを募集する。	保健福祉課	
旭区	保健子育て課のキッズコーナー	窓口での待ち時間に子どもさんが過ごせるキッズコーナーを2階に設けているが、季節に応じて絵本を入れ替える等して親子で絵本に親しみ楽しんでもらっている。	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	窓口での待ち時間に絵本を手にとって読んでもらうことができた。	継続して、旭図書館より毎月絵本を借り入れ、季節に応じた絵本を設置し、親子で親しんでもらえるようにする。	保健子育て課	
旭区	ブックスタート事業	区内のブックスタート拠点のなかった地域への拠点の設置、ブックスタートの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		年4回実施。3回は1組、最後の1回は6組利用。	城北地域で年4回実施	保健子育て課	
城東区	絵本で子育てみんな子育て事業	・図書館、子育て支援施設と連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本展の開催 11月を「絵本読み聞かせ月間」として図書館、子育て支援施設、子育てサロンなど地域の子育て支援施設と連携し絵本の読み聞かせなど絵本に関する取り組みを実施 ・区役所ロビーでの絵本展の開催 ・大人向けの絵本のお話と読み聞かせ会を開催 ・絵本スポット 子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しめ、先輩ママ・パパに身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置	○	○	○	○	△	△	△	○	○	△	○				○	○	・図書館、子育て支援施設・子育てサロンの絵本イベントの周知 ・来庁者が窓口や健診時の待合で手に取れる絵本の充実や、職員による読み聞かせを実施 ・保活や妊娠中の保護者等を対象にしたイベントに於いて、絵本の展示と読み聞かせを実施 ・区の子育て情報誌に図書館と連携して絵本の紹介コーナーを連載した	・図書館、子育て支援施設・子育てサロンの絵本イベントの周知 ・来庁者が窓口や健診時の待合で手に取れる絵本の充実や、職員による読み聞かせ ・保活や妊娠中の保護者等を対象にしたイベントに於いて、絵本の展示と読み聞かせ ・各子育て支援施設によるブックスタート予定を区のホームページや大阪市公式ラインで定期的に周知する 令和8年度4, 5月号をもって子育て応援情報誌が休刊する予定	保健福祉課 (子育て教育)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署			
			実施○	実施せず×	内容変更△		新規◎		乳幼児	小学生	未成年	中学生以上	成人	保護者等								
			R3	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画										
鶴見区	「つるみっ子ルーム」での読み聞かせ	区役所内「つるみっ子ルーム」で保育士による月1回の「おたのしみ会」(絵本の読み聞かせ等)を開催。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	・毎月、保育士による「おたのしみ会」を開催し、図書館で大型絵本や紙芝居などを借り、読み聞かせを行った。 ・12月にはクリスマス会を開催し、絵本をモチーフにしたペープサート劇やパネルシアターを行った。	・昨年度に引き続き、大型絵本と大型紙芝居等を図書館から借りて、月1回、保育士による「おたのしみ会」を開催する。	保健福祉課 (子育て支援室)	
鶴見区	「つるみっ子ルーム」への絵本の借受け	鶴見図書館から、3か月毎に30冊の絵本を借り、区役所内「つるみっ子ルーム」に設置。	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○					○	図書館から借りた絵本を室内の絵本棚に並べ、定期的に入れ替え、いろいろな絵本に親しめるようにした。	引き続き、図書館より定期的に絵本を借り、絵本に触れる機会を持てるようにする。	保健福祉課 (子育て支援室)	
鶴見区	ブックスタート事業	ブックスタートの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	月に1回第4水曜日(9:30～10:00)実施。支援室の保育士で行う。	月に1回第4水曜日実施。実施時間を10:00～10:30に変更。支援室の保育士で行う。	保健福祉課 (子育て支援室)	
阿倍野区	親子フェスタ	親子フェスタのイベント会場内に、「絵本コーナー」の部屋を設けて、複数のボランティアグループによる絵本読み聞かせ＋ミニ絵本展(内容は図書館が適宜選定)を実施	△	△	○	○	○	○	×	○	○	○	○					○	R7.10.25に区役所で開催。絵本の読み聞かせコーナーやミニ絵本展を実施。魚釣りや防災、ハロウィンの衣装づくり等のこども向けコーナーも設ける。	R8.11.14に開催予定。 令和7年と同規模、同内容でのイベントの開催を予定。	保健福祉課 (子育て支援)	
阿倍野区	あべの食育祭	あべの食育祭のイベント会場内に「絵本コーナー」を設けて、『食育』に関する絵本の展示や読み聞かせを実施	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○					○	絵本展示コーナー、絵本読み聞かせを実施し、170名が参加。参加者の満足度も高かったため次年度も実施予定。	8月10日開催予定のあべの食育祭で、絵本展示コーナー、読み聞かせを実施予定。	食育祭:保健福祉課(地域保健) 絵本コーナー:保健福祉課(子育て支援)	
阿倍野区	学校園等支援ボランティア人材募集	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度。 区広報・区HPに学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	8月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	8月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	市民協働課 (教育支援)	
住之江区	あいあい相愛おはなしのへや	「咲洲ウェルネスタウン計画」に掲げた南港ポートタウンの魅力向上の取組みの一つ。住之江区と包括連携協定を締結している相愛大学(子ども発達学科)との協働プロジェクト。 おはなし隊(相愛大学学生)による様々な形(劇や紙芝居、エプロンシアター等)での絵本の読み聞かせ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	開催日 令和7年5月29日、7月24日、12月13日、令和8年2月3日 年4回実施	継続実施 (年3回実施予定)	協働まちづくり課	

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象					R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署		
			実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎										主たる対象者：○									
			R3	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画	乳幼児	小学生	未成年以上	成人等	保護者等					
住之江区	保健福祉課の待合絵本コーナー	窓口での待ち時間や対応時に、子どもさんが絵本に親しめるよう、定期的に絵本を入れ替え展示する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		担当の私物なども含め、年に数回絵本を入れ替えている。待ち時間に活用されている。	継続実施	保健福祉課	
住之江区	乳幼児健診での絵本紹介	乳幼児健診での待ち時間に、子どもさんが絵本に親しめるよう、絵本コーナーを設置する。	×	×	×	△	○	○	○	○	○	○	○				○		担当の私物なども含め、年に数回絵本を入れ替えている。待ち時間に活用されている。	継続実施	保健福祉課	
住吉区	親子教室「すみちゃんひろば」	絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせと絵本展示を行い年齢に応じた絵本を紹介する。				◎	○	○	○	○	○	○	○						予定通り実施。 図書館より団体貸出にて大型絵本や紙芝居、また、年齢に合わせ絵本や季節の絵本等選び、読み聞かせと絵本紹介を実施、参加者よりいろいろな絵本に触れることができると好評だった。	年5回開催予定 R8年5月15日 R8年7月17日 R8年9月7日 R8年11月20日 R9年1月15日	保健こども家庭課(子育て相談室)	
住吉区	すみよし区民まつり「平和絵本コーナー」での絵本展示及び読み聞かせ	すみよし区民まつりの教育文化課ブースに「平和絵本コーナー」を設け、各年齢に応じた平和に関する絵本の紹介と読み聞かせを行う								◎	◎	○	○	○			○		10月25日開催 絵本コーナーの本は住吉図書館が選書し、図書館職員が適宜読み聞かせを行った。	R8年10月24日開催予定 R7年度は、100周年の関係で区民センター大ホール内にブース設置となったが、R8年度は例年どおり屋外となるため、実施方法について検討中	教育文化課	
住吉区	すみよしじんけんシアター会場での寄贈図書の無償譲渡	じんけんシアターに来場した区民を対象に、寄贈図書の無償譲渡を行う								◎	◎	○	○	○			○		12月20日開催 じんけんシアターに来場した保護者の多くが利用し好評であった	R8年12月19日開催予定 じんけんシアターに来場した保護者の多くが利用し、好評であったため引き続き開催予定	教育文化課	
住吉区	すみよし区文化フェスティバル「人権絵本コーナー」での絵本展示及び読み聞かせ	すみよし区文化フェスティバルの会場に「人権絵本コーナー」を設けて、各年齢に応じた人権に関する絵本の紹介と読み聞かせを行う								◎	◎	○	○	○			○		予定通り実施 絵本コーナーの本は住吉図書館が選書し、図書館職員が適宜読み聞かせを行った	R9年2月13日開催予定 人権啓発の取組みでもあるため引き続き開催予定	教育文化課	
東住吉区	東住吉区魅力ある学校づくり応援団	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○		東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集 成果・課題、特になし。	東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集	保健福祉課子育て支援担当	

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署	
			実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎										主たる対象者:○							
			R3	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画	乳幼児	小学生	未成年以上	中学生以上	保護者等			
東住吉区	子育てOHえんフェスタ	区民ホールでの乳幼児向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	10月に人数制限をなくし親子イベントを実施、親子で自由に絵本を手にとれる図書館ブースと、絵本読み聞かせを実施した。	9月に人数制限をなくし親子イベントを実施、親子で自由に絵本を手にとれる図書館ブースを設置する。	保健福祉課子育て支援室
平野区	「ひらちゃん図書の自由貸出」	平野区役所と北部サービスセンターの庁舎内に善意で頂いた図書を「ひらちゃん図書」として設置。窓口での待ち時間に読んでいただくほか、返却期限を設けない自由貸出しを行うことで、読書に親しんでいたく機会を提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	区民の方からの本の寄贈も継続しており、貸出用の冊子が不足することもなく、運営できている。特に高価なうえに読む期間が比較的短い乳幼児用の絵本などの無期限貸し出しは利用者から感謝されている。	継続して実施中	政策推進課
平野区	絵本展の開催	平野図書館やクラフトパークと共催で、年2回、平野図書館より距離的に遠い長吉、瓜破地域で「絵本展」を開催。読み聞かせ等のイベントも実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共催し実施した	クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共催で実施予定。	政策推進課
平野区	平野区こども学力サポート事業	児童の学習支援と居場所づくりのために、教員をめざす大学生を中心としたボランティアを小学校に派遣し、学習習慣の定着をはじめ、こどもたちに「生きる力」を身につけてもらえるよう支援する。支援内容は各学校の要望により異なり、「読み聞かせ」や学校図書館への支援の事例もある。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				全小学校22校を対象に実施。ボランティアが不足する場合には、区役所と提携している大阪常磐会大学を通じて学生を募集し各小学校に紹介した。	区内小学校全22校を対象に予算を確保し実施予定。	政策推進課
平野区	平野区読書習慣の定着事業	読んだ本のタイトルを記録できる「ひらちゃん読書ノート」(1～4年生用、5・6年生用・中学生用)を作成し、区内の全小中学生に配布。1～4年生は100冊以上、5・6年生・中学生は3000ページ以上を読まれた児童・生徒を、区長から表彰する。また、3～5歳児用の「ひらちゃんえほんふれあいノート」も作成し希望者に配布している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			R7年度は、小学校の全児童の25.1%が表彰された。当初より少ない中学生の表彰者を増やすために、中学生の体験学習を区役所で受けた際に、中学生の表彰者数を伸ばすアイデアを提案していただいた。	読書ノートについては、今年度も引き続き取り組みを進める。今年度は全小中学校、33校から表彰者が出ることをめざし、体験学習などで提案いただいた促進策を、学校とともに進める。	政策推進課

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度										事業の対象				R7年度実施状況 成果・課題など	R8年度計画	各区役所 担当部署
			実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎				主たる対象者：○												
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	R6 実績	R7 計画	R7 実績	R8 計画	乳幼児	小学生	未成年 中学生以上	成人 保護者等			
西成区	西成区こどもの読書活動推進支援事業	読書活動を行うきっかけづくりとして、区内小中学校の児童生徒に読書カードを配付する。未就学児が早い段階から読書に親しめるよう、区内保育所(園)及び幼稚園の児童にえほんよみきかせカードを配付する。 ・読書カードは、対象者が4月1日～翌年1月31日までに読了する目標冊数を設定（目標読了冊数：小学校1・2年 100冊、小学校3・4年 70冊、小学校5・6年 50冊、中学生 25冊）通年実施のうえ、取組内容に応じて賞状等を授与する。 ・年間目標読了冊数を達成した児童生徒に賞状授与 ・区分ごとの読了冊数が最多の者に表彰状及び記念品授与 ・感想文(ふりかえりシート)を提出した児童生徒に参加賞授与 ・絵本の読み聞かせに取り組んだ保護者と未就学児に賞状及び参加賞授与 ※希望する学校園等において区長から直接表彰状又は賞状を授与	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	・希望する小中学校に読書カードを配付。(小学生2,130部、中学生700部)公立幼稚園及び公立保育所にえほんよみきかせカードを配付。(415部) ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒及び学校長推薦者に賞状を授与し、各区分の年間読了最多児童生徒に表彰状を授与。(小学生247名、中学生39名) ・感想文(ふりかえりシート)を提出した児童生徒に参加賞を授与。(小学生1,039名) ・読み聞かせに取り組んだ保護者と未就学児に賞状及び参加賞を授与。(281名) ・希望する学校園等で区長から直接表彰状又は賞状を授与。(2幼稚園、1小学校、3中学校) ・活動取組は区の広報紙(R7.7月号)にて、授与式は区の広報紙(R8.5月号)にて掲載。	・希望する小中学校に読書カードを配付。 ・区内保育所(園)及び幼稚園にえほんよみきかせカードを配付。 ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒及び学校長推薦者に賞状を授与し、各区分の年間読了最多児童生徒に表彰状を授与する予定。 ・読み聞かせに取り組んだ保護者と未就学児に賞状及び参加賞を授与する予定。 ・希望する学校園等で区長から直接表彰状又は賞状を授与する予定。 ・授与式について、区の広報紙にて掲載予定。	保健福祉課 (子育て支援)
西成区	にしなり子育て情報誌 ハギッズ	図書館の「絵本おたのしみ会」開催日やブックスタートの周知、絵本紹介などを掲載し、奇数月に発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△				○	奇数月に発行。 西成区ホームページへの掲載、大阪市LINEでの配信も行っている。	紙面をリニューアルし、偶数月に発行予定。西成区ホームページへの掲載や大阪市LINEでの配信も引き続き行う予定。	保健福祉課 (子育て支援)
西成区	子育ての集い	区と区内の子育て関連施設で構成されている「わが町にしなり子育てネット」により開催(区役所は後援)。 子育て施設職員による紙芝居の読み聞かせを実施している。	△	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○			○	開催なし	開催予定なし	保健福祉課 (子育て支援)

令和8年度 各区子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

区ごとに年に一度、子どもの読書活動推進連絡会を開催して、関係者間で情報交換を行っています。
本まとめでは、各区の各施設、団体の前年度の活動状況や報告事項、相談事項、いただいた意見等の中から、主なもの、特徴的なもの等、今後の子ども読書活動の推進に参考になると思われる事例やアイデアをご紹介します。

●連絡会への参加を要請している機関・団体等

【読書活動支援ボランティア】	各ボランティアグループの代表者(推薦された者)
【地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など】(地域の実情に応じて要請)	ボランティア・市民活動センター(旧ボランティアビューロー)、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など
【子育て支援施設】	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターなど
【就学前施設】	公・私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園など
【学校】	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事(管理職)、司書教諭、学校図書館主任など(代表出席)
【区役所】	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など
【事務局(各区市立図書館)】	館長または担当係長、司書職員、教育ブロック担当学校図書館コーディネーター

●各区子どもの読書活動推進連絡会より

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
西区 (中央図書館)	7月14日	・平日行事の参加者が少ない、低年齢化している。行事終了後の時間に、大きめの子どもに「今日はやってないの?」と聞かれることもある。 →(図書館)平日の子ども向け行事の実施時間アンケートを実施(結果を会議資料で共有)。「休日午前」希望も多く、今後検討。 ・今の子どもの現状が分からないので、読み聞かせについての要望は「お任せします」よりも「園内でこのような行事を予定しているので関連する絵本を」等、詳しく書いてもらう方がありがたい。 ・施設に出向いて読み聞かせを行い、子ども達は喜んでくれるが、やはり家庭で親の声で読んであげるのが読書習慣につながる。	【子ども・子育てプラザ】 ・プラザに遊びに来てタブレットばかり見ている子が多いので、遊びや本の読書に興味を持たせなくてはと焦る気持ちがあった。第5次大阪市子ども読書活動推進計画の「電子書籍でも読書」という姿勢を聞いて安心した。デジタルを入り口にして読書習慣につなげられれば良いのだと思った。	【幼稚園・保育園】 ・園内で日々読み聞かせを行っているので、子どもたちが絵本を好きになっているという実感がある。 ・家庭ではゲームや動画ばかりという子どもが多いが、園での読み聞かせには皆夢中になって聞いている。大人からの働きかけが大事だと思う。 ・入園したてで園の教室に入りたがらないの子の誘導に、絵本は有効。 ・図書館に園外活動でおでかけをするが、事前に連絡をすべきか迷う。 →(図書館より) 事前連絡は不要。楽しくて声が大きくなったり興味のあるものに走りよったりするのは、子どもとして自然な行動。今までも近隣の保育園幼稚園の子どもたちが来ているが、先生の見守りで上手に図書館を利用してくれている。 ・団体貸出を利用しているが、一括貸出・一括返却のルールが不便。 ・大型絵本を園内行事に使いたいのが、貸出中であることが多く残念。	今年度、図書館の読書ボランティアとは別に、西区で小学校おはなしボランティアを募集している。そのことについての質問があり、図書館より、西区役所ボランティア募集の講座において図書館司書が講師役を担当したことを報告した。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
北区	7月10日	・年々読み聞かせの対象の子どもたちが小さくなり(0～2歳児が多い)、園の先生は絵本よりペープサート・エプロンシアター・パネルシアター等を喜ばれる。私たちは絵本を中心にしたいという思いがある。絵本とどうつないでいくか悩んでいる。 ・立体感がありビジュアル効果を上げるためしかけ絵本なども図書館にそろえていただきたい ・ここ数年、土曜開催のブックスタートに両親での参加が増えている。お父さんが特に熱心な様子がうかがえ、絵本に興味を持ってくださる。平日でももっとお父さんが参加できるようにあればいいのと思う。	・親子で絵本を楽しむためのアプローチや読書を通じた親子コミュニケーションが重要だととらえている。 ・子どもたちもちろんだが、保護者も読み聞かせを楽しんでいる。先日、絵本の会北による読み聞かせの際、パパやママから「とても楽しかった。良い時間だった。」とご意見があった。 ・1歳前後の子は絵本よりおもちゃで遊ぶ傾向があり、2歳近くなると絵本を親子で楽しまれている感じ。 ・1歳前後でも楽しめるよう、施設内の絵本が少しマンネリ化してきている部分を、時々はクレオ大阪子育て館などで大型絵本を借りて、いつもと違う形で絵本を紹介することも大事だと思う。 ・本離れといわれるが、まだまだ絵本は捨てたものではない。書店の絵本コーナーはとてにぎわっている。 ・絵本の選び方についてよく聞かれるので、保護者も子どもたちによい絵本を与えたいと思っているのではないか。 ・施設(子育てプラザ)に来る子どもたちでも、本を読む子と読まない子の二極分化が見られるようだ。 ・親子が人に絵本を読んでもらうことで、気持ちがリフレッシュしている様子。もっと読み聞かせ、絵本に触れられる時間や機会を増やしたい。	【教員】 ・読書離れが進んでいる。課題が早く終わったときや休み時間にタブレット(1人1台端末)を使っていることが増えた。 ・もっと図書室に訪れる児童が増えたらいいと思う。 ・読書への興味・関心に個人差があるので、多様な本と出あえる機会をより充実させたい。 【学校司書】 ・大人への働きかけが重要ととらえている。絵本から読み物に向かう段階でどのような本を子どもに与えるかの情報が保護者にもっと必要だと思っている。学校も同様で、読書への動機づけとして、先生に本の紹介をしてもらっていて、児童の読む本の幅が広がっているように思う。 ・新一年生は読み聞かせをととても楽しんでいる。小さいころから入学までの時間に絵本などを親以外の人にも読んでもらえる機会があつて、読んでもらうことを楽しい時間としてとらえているようだ。	【子育て支援施設】 ・赤ちゃん親子はつどいの広場でもよく絵本を広げて読み聞かせている姿を見るので絵本の配本はありがたく利用させてもらっている。広場では離乳食の本を手取る保護者も多いので、育児関連の保護者向けの配本もあつたらいいと思う。
都島区	6月25日	・読書をする子としない子の差が広がっており、子どもだけでなく大人も含めて「本離れ」が進んでいると感じる。 ・図書館の読み聞かせ行事は、参加者が減っているように見受けられる。曜日や時間帯の見直しなど、開催方法を再検討してはどうか。 ・乳児向けの読み聞かせ行事では、家庭で親子が一緒に楽しめるわらべ歌や遊び、年齢に合った絵本を紹介したい。 ・都島区内の小学校で、授業の一環として「おはなし会」を実施している。子どもの読書離れが指摘されるなか、年1回と限られた機会ではあるが、子どもたちに「お話」や読書の楽しさを伝えるきっかけになればと考えて活動している。会では子どもたちが関心をもって聞いてくれるため、今後も継続して取り組みたい。	・親子交流の場で、読み聞かせや「親子えほんタイム」、絵本講習会「えっほん!」、絵本ひろばなどを実施し、多様な絵本に出会える機会をつくっている。子ども一人ひとりの興味や発達に合った「好きな絵本」との出会いにつながると考えている。 ・親子参加型の読み聞かせでは、手遊びやあそびうたを取り入れると子どもの関心を引き出しやすい。家庭でも取り入れやすい点も利点である。 ・保護者同士が、絵本を紹介し合う場を設けている。購入の参考になるだけでなく、楽しみ方や選び方の幅を広げる機会にもなっている。 ・絵本関連のイベントを通して親子のコミュニケーションが深まり、家庭での読み聞かせのきっかけにもなっている。 ・読み聞かせに対して「難しそう」「自信がない」と感じる保護者は少なくない。そこで行事では、手遊びやパネルシアターの後に読み聞かせを配置し、活動の締めくくりの合図としている。保護者が不慣れでも、子どもは絵本の時間を楽しみにしている。 ・ブックスタートでは、図書館ボランティアが読み聞かせを担当している。ブックスタート以外の場でも、読み聞かせボランティアの派遣を依頼したい。 ・絵本ひろばは参加者が少なく、保護者が絵本を手にとらない場合がある。おもちゃを置かず絵本に集中できる環境にするなど、参加を促す工夫が必要である。 ・スマートフォンの使用や動画視聴の時間が増え、家庭で絵本を読む時間が減っていると感じる。読み聞かせを通して、親子が継続的に絵本に親しめる機会を提供したい。あわせてブックスタートの場で、絵本を介した親子のコミュニケーションの大切さを伝え、絵本に触れるきっかけづくりを行いたい。	【保育園・保育所】 ・日々の保育の中で読み聞かせ(絵本、パネルシアター、スケッチブックシアター、紙芝居、歌つき絵本など)を行い、貸出も実施。予算の制約で絵本を十分に揃えられず、多様な絵本を提供しにくい点が課題。1対1の読み聞かせも行いたいが、現状はクラス(集団)での実施が中心となっている。 ・絵本よりもタブレットやスマートフォンに触れる時間が増えている。絵本に親しんでいる子と、そうでない子の差が大きい。 ・3歳児から読書の時間を設け、読書ノートに記録しながら、多くの本に触れられるよう促している。生活動線上に絵本スペースを設置し、待ち時間や移動の合間にも読める環境を整えている。迎えの際に保護者が子どもと一緒に読む場面もあり、家庭への波及が期待できる。 【幼稚園】 ・毎週絵本の貸出を行い、家庭で読み聞かせをしてもらっている。読んだ様子は「絵本カード」に記入し、提出してもらう。 ・園内でも、保護者と一緒に絵本を読む時間、毎日の読み聞かせ、誕生会でのおはなし、図書館ボランティアによるおはなし会などを実施し、あわせて中央図書館の絵本セットも活用している。 ・幼児期は絵本への関心が高く、多くの子どもが自ら絵本を手に取り、読み聞かせにも集中して参加している。 【小学校】 ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせや、図書館開館支援の活動が定着している。一方で、ICTの普及により本離れ・読書離れが進んでいると感じる。 ・学校図書館ボランティアによる読み聞かせや、都島図書館ボランティアによる授業内でのおはなし会(ストーリーテリング)など、おはなしに触れる機会がある。また、校区内の幼稚園と連携し、年長児に図書室を利用してもらう行事も実施している。学年を問わず、子どもが落ち着いて聞ける土壌がある。 ・高学年では、読むジャンルが多様化し、好みも分かれる(小説以外も含む)。読書を「形式」で否定しない姿勢が重要である。 【中学校】 ・各学年でビブリオバトルを開催。学校全体として読書の優先度が相対的に下がりやすく、朝読書の時間を確保できない場合がある。 - 図書室の利用が「勉強目的」に偏りやすく、生徒が手取る資料も「部活動」や「進路」に関連するものに寄りがちである。読書への入口づくりが課題である。	【区役所】 ・学校図書館ボランティアの募集について、各小中学校の希望を確認し、広報紙にて募集記事を掲載。 ・4歳児訪問事業にて『健康教育』をテーマに絵本を配布。家庭訪問時には絵本を通じて子どもの発達の様子を確認。また子育てイベントの際、参加した子どもに簡単な絵本の読み聞かせ等を実施。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
福島区	6月25日	・絵本選びやプログラム作りが一番の悩み。一度に0歳から4歳を実施するときには、どこに照準を合わせて絵本を選んだらよいか迷う。また、導入の絵本選びも難しい。 ・近頃、昔ばなし紙芝居は結末が変わっていることがあり、やわらかいものになっている。昔ばなしの絵本や紙芝居を読むとき、「死ぬ」とかの表現がない方がいいのか、元のままのものを読む方がいいのか、どっちがいいのか悩んだ。 ・赤ちゃんに何の絵本を読もうか、何をしようかと毎回悩んでいる。絵本選びについては、以前、熊被害の時には用意していたくまの絵本を使うことに躊躇して司書に相談した。何でもすぐに司書に相談できるのでありがたいと思っている。 ・小学校は読書週間の時に依頼が集中する。メンバーの高齢化が進み、活動人数が減っており、人のやりくりに苦労している。	【子ども・子育てプラザ】 ・児童の活字離れ(図書より漫画を読む児童の方が圧倒的に多い) ・絵本棚の本が固定化している(予算が限られているため、定期的に買うことができない) ・必要なお母さんたちに情報を届けることができているのか、と感ずることが多々ある。届けられていない気がしている。ブックスタートも多数の参加はあるが、対象となる全員が来ているわけではないと思う。 【つどいの広場】 ・デジタル化が進む中でも、紙だからこそ味わえるページをめくる感触や楽しさを感じてもらいたい。 ・絵本の読み聞かせの苦手な親御さんもおられるので、そのような方が苦手を払拭できるような講座があれば。 ・図書館の場所が遠いのでなかなか行けないとの声を聞く。	【保育所】 保育所では絵本を毎日読んでいるが、その習慣を家でも、ということが難しい。保護者に絵本をなかなか伝えられない。家でも絵本を読んでもらえるようにしていきたいとずっと考えているが、保育者も忙しく、配本を貸出しようか検討中。 【小学校 学校司書】 ・できれば先生方にも子どもたちと一緒におはなし会を開いてほしいと思っている。先生と一緒に本を楽しむ時間を共有してくれたら、子ども達はきっと嬉しいと思う。 ・絵本が古くなってきているが、費用面で購入が難しい。 ・1人1台端末を持つようになってから、調べ学習等が端末中心になっている。 ・昨年度の校内調査で「読書は好き」と答えた子どもの割合は「そう思う」56.3%、「まあそう思う」26.0%で年々減少傾向にある。PCを使用する子どもが増えたことが要因の1つと考えられるが、本離れが本校でも課題である。 【中学校】 ・教室棟と図書館は別の棟にあるため、来館者数に大きく影響がある。 ・学校司書やボランティアも活用しているが、図書室に関する業務が教員にとって負担になっている面もある。	【福島区役所保健福祉課(子育て教育担当)子育て支援室】 赤ちゃん広場で、どのように絵本を読んでいるかわからないお母さんがいると感ずることがある。読み方のアドバイスをしたいが、時間的に難しい。赤ちゃん広場の行事内容の中に、絵本の読み聞かせの方法を伝える回を入れようか検討中。
此花区	書面開催	・子どもの文化活動として、年上(小学生なら高学年)が低学年に、中高生が訪問して小学生に絵本などの読み聞かせができればと思う。 このスマホの時代に個々人がスマホの中で楽しんでいるが、身近なお姉さんお兄さん達が読み聞かせなどしてくれると知っているだけに親しみをもって聞くのではと思う。		【幼稚園、保育所】 ・絵本を大切に扱わないのですぐにボロボロになる。 ・絵本も動画で見ている子どもも多い中で、生の声で読み聞かせる時間を多く取りたいと感ずるが、日々の保育の中では限界も感ずている。保護者に絵本の良さを十分に伝えきれていないとも感ずている。 ・外国にルーツを持つ子どもが増えているので、園での読み聞かせの際に伝わっているかなと感ずている。 【小学校】 ・読書に取り組む子どもが増えつつあるが、一方で、「面倒くさい」などの理由で本と向き合わない子への支援に苦慮している。 ・文字が多い本はなかなか手に取ってもらえない。読み聞かせの時間をとりたいが、上の学年になるほど時間がとりづらい。 ・家庭での読書習慣がない。 ・学校司書が週4(主幹)→週1となり、これまで学校図書館を居場所としていた子どもや本好きの子どもたちが寂しい思いをしている。 ・学校司書と協力していろいろな取組をしたいが、週一回ではむずかしい。 ・学校図書館にある本が古くて、汚れている場合がある。本の扱い方(オリエンテーション)や蔵書の点検後の廃棄・購入が必要。 ・図書室が常時解放されればよいと思うが、人手不足などでできない。読書活動+自主学習(PCでの調べ学習も)できるような場所にしたい。 【中学校】 ・活字離れが進んでいるように感ずる。 ・読書をする生徒、好む生徒が少ない。学校図書館利用者数の減少	6/26対面で開催予定だったが台風接近にともなう大雨のため書面開催に変更

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
中央区（島之内図書館）	7月3日	・コロナ禍前には実施していた小学校お話し会が復活するように希望している。 ・外国にルーツのある児童が6割と小学校から聞いている。どうしても言葉の理解の差があるので本の内容や、見易さなどの点で、メンバーそれぞれに本を選ぶ時に吟味している。朝読みでは、あまり難しい内容は選ばない、気持ちが明るくなる内容にするなど工夫をしている。読む時は、はっきり・大きな声で、ゆっくりを心掛けている。 ・子育てサークルに講師を招いて、季節の行事に合わせた本を紹介いただいた。その後、ひなまつりのときは歌を歌い、節分のときはボールで豆まきを行うなど、本を通して行事ごとを楽しむよい機会となった。 ・若い方のボランティアの参加が少ないのは少し寂しい。	【区役所 保健子育て課】 ・デジタル化が進む中、紙媒体の書物の需要が減っているのではと思う。子どもにはデジタルではなく今後も紙媒体の絵本が広まればと願う。動画を見ている子が多いが、受動的になる。本を読むことは、考えることにつながる。紙媒体の本を自分でめくって読むことにより、自分のペースで見て、考えて、感じるができる。 ・親子で関わるツールとして絵本を活用して欲しい。 【子ども・子育てプラザ】 ・本を好む児童と、全く興味がない児童との二極化を感じる。 ・保護者が本好きか否かで、乳幼児の興味関心も異なると感じている。保護者に興味を持ってもらうことが、子どもの読書推進に繋がると考える。 ・児童の読書への意欲の引き出し方、読書習慣の定着の難しさを感じている。	【幼稚園】 ・園内の絵本室の絵本を選んで持ち帰り、週末親子で読む機会を設けた。絵本カードを作り、タイトル、子どもの様子、感想など、一行程度書いてもらうようにした。 【小学校】 ・高学年が低学年への読み聞かせなどを行った。 ・毎学期1回読書イベントを実施、今回は本の商店街を1週間おこなった。 ・高学年は、図書の時間に毎週は来られない。年1回読書週間にブックトラックに本を載せてスタンプを集めるなどのイベントを行った。 【中学校】 ・日本語がわからない児童に対しての支援 ・いろんな取組をしても、読まない(読めない)生徒が一定数いることが課題。	
港区	7月1日	・小学校で、おはなしの語りや絵本の読み聞かせを実施している。 ・本や紙芝居を通じて、物語で心が豊かになること、図書館で本や紙芝居を無料で借りられることを発信し、関心を高めている。 ・絵本の読み聞かせやエプロンシアター、親子でする簡単な工作等で、親子で楽しめる時間を作っている。 ・幼児向けの人形劇をしている。マリオネットは泣いてしまう子もいるので難しい面もある。毎回終了後に使用した人形に触る体験時間を設ける。メンバー高齢化により新メンバー確保が難しい。 ・絵本広場を各地で開催していた時期がある。準備・片づけに人手がいるが、児童委員とのタイアップで実現していた。地域の見守りの人々と協力したりしてできるので、学校で1部屋を確保して絵本広場を実施すれば、定着していくのでは。入学前の子どもを対象にすることで学校に慣れるきっかけにもなるのではないかと思う。	・11地区の子育てサロンを月1回開催し、イベント最後に大型絵本等の読み聞かせを行っている。参加者が低年齢化しているため、集中・理解しやすい、わかりやすい隠し絵・しかけのある絵本が喜ばれ、予算の少ないサロンは図書館で借りた本を読み聞かせに活用している。 ・未就学児と保護者のための「つどいの部屋」を火～土に開催し、絵本を手にとれる環境を整えている。外国につながる利用者もいるため図書館と連携し、多言語の絵本を配置しているほか、お昼と帰る時間の切り替えに絵本を活用し、子どもが絵本に親しむ時間を作っている。小学生以上には月1回、本好きの児童を対象に図書選定委員の活動を行い、児童が選んだ本を配置しており、子ども同士で選定する本の方が大人の選んだ本より手に取られる確率が高いこともある。人気は絵本・漫画。 ・外国につながる人にとって、子育てサロンは申込制のため辿りつけない可能性があり、また、サロン側から対象者を把握しにくく、保健師の検診等での周知も難しい。一時絵本広場を実施していたようだが、絵本広場は子どもが参加しやすい一方、本の配送・準備・片付けに人手が必要で、地域の見守りの人々や児童委員との協力が鍵となる。	【保育所】 ・ボランティアによる読み聞かせを子どもたちが楽しみにしている。家庭で本に触れる時間が少ないため、幼稚園・保育所での接触機会を増やしたく、連絡会で新たな知識や意見を得たい。 【学校】 ・「どうしたら本を読んでもくれるか」「利用率をどう上げるか」を図書委員会で相談した。「読みたい本が少ない」という意見を受け、選定時にほしい本をジャンル問わずに募集するなど、子どもが自分で選べる工夫をした。また、昨年度までの「読書週間」を今年は「読書月間」に延長し、月間中に大きなイベントを盛り込み、普段図書館に来ない児童も来ることを狙っている。 ・週4日 学校図書館が開き、開館日は毎日100人単位で児童が来館する。数年かけて学校全体に「本が好き・読書をする」空気が醸成され、研修会・公開授業などで読書活動に取り組む。本好きの子どもが多い。図書委員会では子どもが主体的にイベントや学校図書館を楽しくする工夫を考えてくれている。 ・外国につながる児童が低学年(新入生)で年々増加している一方、週1回の日本語指導やアプリでの会話では上達・コミュニケーションが十分に進みにくい現状がある。絵本は言語に関係なく手に取る児童が多く、図書の時間では大きな支障はないが、中国語以外の少数言語の本は導入が進みにくい。	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
大正区	7月8日	・今の子どもたちは忙しく、図書館でゆっくり本を選んで読む余裕がない。そこで私たち大人は、子どもの集まっている場所に行って、子どもと本をつなぐ必要がある。方法は、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせなど。メンバーでできる量に限界があるため、仲間を増やしたい。今のご時世、ボランティア活動ができる若い世代は少なく、子育て中のお母さんを巻き込むのは難しい。 ・図書館でのどようおたのしみ会、参加者が少ないのが困る。	・遊び場に本棚を設置しているが、本を読む子はたくさんいる。ただ図書館から借りた資料を施設で貸出をしているが、貸出数は減ってきている。 ・昨今、活字離れが続いているが、子どもの誕生を機会に親子で絵本を楽しんでほしい。そして年齢が上がるにつれ、絵本から文字が多めの本へと移行して、読書習慣につながっていくことを願って、活動している。	【小学校】 ・タブレット端末の普及により、子どもの読書時間が減ってきている。 ・読書を通じて子ども達の語彙を増やしていきたいが、効果的な取組について紹介いただけると嬉しい。 ・活字を読むことがほとんどない児童が増え、読書の楽しさや面白さにふれることが減っている。学校でできる取組について助言いただきたい。 ・高学年の図書室の利用率が低い。 ・児童が本を読む時間が少ない ・デジタル機器や動画に触れる機会が増える中、子ども達が自発的に本を手取る時間をいかに生み出すが日ごろの課題。長編の読書が苦手な子も増えていているため、まずは短編や絵本、イラストの多い図書など、子ども達が無理なく興味を持てる読書の入口を広げる工夫が必要だと感じる。 【中学校】 ・元々本が好きな子は自ら図書室に来るが、そうでない生徒が本に触れる機会を、授業などを活用して提供していきたい。 ・不読の生徒へのアプローチをどうするか。 ・スマートフォン等の所持増加に伴い、動画の視聴が日常となり、本離れが深刻化している。 ・長文を読むことへのアレルギー。 ・言葉を短縮することで、本来の単語や文章の意味や正しい言い方がわからなくなってきている。(きしよい、うざい、ばくろ等)	【区社会福祉協議会】 ・スマホやゲームの影響で、読書の習慣が失われていることが課題だと考えている。
天王寺区	7月10日	・図書館からの派遣施設で使用する大型絵本等の大きな荷物の運搬手段に困っている。4月より自転車ルールの変更があり一層難しくなった。図書館で搬送方法を検討して手段を提供してほしい。 ・小学生が読める本の難易度が以前より下がっていると感じる。ブックトークは聞くだけでは難しいので、クイズを入れたり、耳と目で理解できるように工夫している。小学校では外国籍の子どもが増えており同じように楽しんでほしいと思うが内容は悩む。	・参加する子どもの低年齢化で1歳前後の利用が多い。保育園幼稚園の入園が早まっているからと思われる。 ・初めてのお母さんで赤ちゃんに絵本？と不思議そうにする方もいるので、大きい子どもがじっくり読むのとは異なる赤ちゃんの絵本の楽しみ方を伝えることの大切さを感じる ・最近出版されている乳児向け絵本の情報を知りたい。 【子ども・子育てプラザ】 ・絵本を教育的な教材としてとらえる傾向がみられる。乳幼児期は親子のふれあいや楽しさを共有するものでもあると伝え、「読み聞かせを頑張らなくては」という保護者の負担を軽減することが課題の一つである	【保育所・幼稚園】 ・家庭での読書経験には個人差があると感じる。家庭と連携し身近に絵本を楽しむ環境づくりを進めることが大切と感じる ・家庭で親子が一緒に絵本にふれて共に楽しむ機会がへっているように思われる。 ・子どもによって絵本への興味や経験に違いがあるため一人ひとりの発達や興味に応じた絵本との出会いをどのように作るのかが課題である ・AIの時代なのであえて図鑑で調べるということもしていきたい 【小学校】 ・学習漫画から物語への移行が難しい ・たくさん読む子と読まない子の二極化を感じる ・いろいろな家庭があり、家に電子書籍はあるが本はないという家庭もあった。 【中学校】 ・学年の教室の変更により、学校図書館が遠くなった学年の来館が減少している	【区役所】 ・読み方に自信のない保護者もいて、絵本の読み聞かせ方を具体的に保護者に伝えていく取組も必要と考える。ブックスタートでいろいろな読み方をして見せることで保護者の参考になっている。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
浪速区	書面開催	・読書を本を読むことだけに限定しているのは少し違うように思う。漫画やアニメ、タブレットで本を読んでいる子どもたちが増えている。時代の流れに沿う必要がある。 ・縦長の校区のため、図書館に子どもだけで来ることが難しいのかもしれない。 ・絵本の読み聞かせの時間にくる子どもが低年齢化してきており、絵本の選択が難しい。0歳～小学生低学年までの絵本を常に用意するようにしている。	・成長する(学年が上がる)につれ、習い事など多忙であることから、読書の機会が減っている。 ・おわりの会や講座など集会の場面では大型絵本の読み聞かせが目をはき、どの年齢にも有効である。所有数が少ないので貸出を利用しており、ありがたい。 ・図書館より借りている多言語の絵本の言語の種類について、現状にあわせた連携をの希望に応じていただき、いつも利用者の反応も良い。続けていただけるとありがたい。 ・小さい子どもでも身近な大人(保護者など)に絵本を読んでもらう心地よさを感じたり、絵本を自分でめくる楽しさを味わえたりすることができる。そして絵本を通して様々な興味・関心をもつ機会を得ることができる。日々、子ども達とかかわる中で、絵本にふれることの大切さを感じ、子どもの読書支援活動の重要性を感じている。 ・絵本は子どもだけではなく、高齢者が見ても心が癒されると思う。高齢者の食事会や介護予防教室などにおいて、認知症の絵本などを読んでいるが、小学生に対する福祉教育などでも読んであげること、認知症の高齢者に対する優しさや対応についても伝わるのではとないかと思う。 ・スマホ等による読書が増えているが、紙面を読む読書行為の方が健康的だと思うので、子ども達には、もっと実書籍の読書につながるような活動があってほしい。実際に本を手にとってページをめくってその作品の世界に没入の楽しさを味わってもらえたらと感じる。	【保育園・保育所】 ・保護者の読書離れ、育児のスマホ依存が気になる。 ・本離れが加速していて、YouTubeやゲーム等が低年齢化している。保育所では絵本に親しんでいるが、家で絵本を活用している保護者が少なくなってきたことを感じる。 ・外国籍の子どもが親しめる本を知りたい。 ・外国語の絵本は言葉、発音がわからないので音源などがあれば教えてほしい。 ・いろいろな絵本や紙芝居など読める機会を多くもちたいが、難しい。買える冊数が限られる。 ・100冊絵本が年間通して2回あればと感じている。絵本が毎年おなじようなものになっているのでかわりばえがしない。個人持ち(職員)の絵本をもって来るなどしている。 【幼稚園】 ・外国に繋がりのある子どもが多く在籍しているため、日本語の絵本を理解することが難しく、絵本の面白さや楽しさが伝わりにくいことを課題と感じている。 ・読み聞かせボランティアの方は、日頃園ではできない大型絵本やウクレレ演奏などをしてくれるので、とても楽しく助かっている。 【小学校】 ・子どもは「読書は好き」と言っているが、家庭ではゲーム・動画を視聴する時間が圧倒的に多い。 ・学校司書の配置が週1日しかない。もっと増やしてもらえたら、教科にかかわる読書相談などがしやすくなり、読書活動の推進につながる。 ・子どもたちが、より自発的に読書したり、様々な本に触れる機会を多くしたりするために、学級文庫をより充実させることが必要だと考える。 【中学校】 ・図書室利用者は増えている。特に、漫画を読んで、休み時間を過ごす生徒が増加。小説を読む生徒も増えており、継続的に借りる生徒も増えてきた。 ・ゆったりと図書室で過ごす生徒が多い。 ・図書室が各教室から少し離れているということがあるが、図書館開放や移動図書館等で本にふれる機会をつくることで来館につながっていると感じる。引き続き様々な工夫をし、取り組んでいきたい。	6/26対面で開催予定だったが台風接近にともなう大雨のため書面開催に変更
西淀川区	6月2日	・図書館内の読み聞かせ行事への来場数が増えてきていて喜んでいる ・年齢層が幼児～小学生と幅広い日があり、それに対応できるように努力していきたい。 ・毎月第3土曜の図書館のおはなし会は、小学生の来館者が少ないのが課題。	・子育てにおいて動画視聴されること。小学生になると極端に増える。 ・つどいの広場で遊んでいる時に絵本を手にとって読んでいる親子が減っているわけではないが、貸出希望は少なく、申込者数が減少している。 ・絵本を借りて帰る人が限定されているので、貸出をすすめている。 ・ブックスタートの取組を知らせ、参加者(月齢の低い子)に参加したかどうかの確認をしている。 ・地域図書館と同じ庁舎内にあるため、より相互の利用を促せると読書推進につながるのではと思う。 ・施設ではなかなか大型絵本をそろえられないため、100冊絵本で大型絵本もかりられたら嬉しい。 ・興味ある絵本に集中して見る姿が見られるが、関心の薄い内容になると飽きてしまい、室内を走り回る姿も見られる。年齢や発達に合わせた絵本選びや子どもが興味をもてるような工夫をしていく必要があると感じた。 ・リラックスして子どもが本を楽しめる、スペースと時間の確保が必要。 ・大人も興味ある、本を楽しむ姿を時折見せることが必要。 ・スマホ、タブレットをさわる時間が増え、本にふれる、絵本に親しむ時間が圧倒的に減っているので、意識して増やしていきたい。 ・本の好きな子、興味のある子は毎日本に触れているが、苦手な子はほとんど本に触れる機会がない。 ・小・中学校の図書館を充実させ、できることならば、放課後や休日開館ができるようなしくみができればと思う。そして、生徒だけでなく近隣校区内の住民も利用できたらと思う。	・読書時間を確保するのが難しい。 ・読書に親しむ児童とそうでない児童との差がある。	・区役所の共創事業として、2日間連続の「えほん展 えほんとおそびのふわふわランド」を実施した。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
淀川区	6月23日	・土曜日のおはなし会の参加者が低年齢化している。 ・楽しい絵本やメッセージ性のある絵本、お話などを知ってもらえる機会を増やしたい。 ・新しい図書館になってから、図書館行事への参加者が増えた。とても嬉しい反面、責任も感じる。また来たいと思ってもらえる楽しいプログラムを準備したいと思う。	・学校の授業等でもタブレットになってきており、本のページをめくることが少なくなっているように思う。児童で行っている「ものがたりのへや」でも読み聞かせは見てくれるが、自分で読むことがなかなか浸透されていない。 ・読み聞かせボランティアと施設の連携がとれたら良いと思う。 ・施設のスペース上、絵本の設置場所が子どもの手の届かない所にあり、子どもからのアピールがない場合は読み聞かせにつながりにくい。 ・毎日の読み聞かせを続けることで、絵本に興味を持ち、絵本が大好きになった親子が増えてきて、とても嬉しく感じている。日々の積み重ねがとても大切だと思う。図書館の絵本セットの配本、大型絵本の貸出等も利用しながら今後も色々な多くの絵本を親子に紹介したい。 ・家庭でどれくらい絵本を読んでもらう時間がとれているかが疑問。 ・5歳児に絵本の会のボランティアが1対1で読み聞かせをしてもらったのが良かった。	【幼稚園・保育所】 ・子どもが絵本に親しみ、自ら手に取りたくなるような工夫が必要。また、保護者への知らせ方への工夫も必要。 ・読み聞かせの仕方がわからない(読み方が分からない。子どもが聞いてくれないなど)という保護者の声を受けて、月に1回、教職員の読み聞かせを親子対象で行った。また、同日に子どもが読みたい本と保護者が我が子に読み聞かせたい本を貸し出す取組も行った。保護者(大人)が絵本に関心を持ち手に取る機会は意外に少ない。また、就学前の幼児は少しずつ文字を読めるようになるため、家庭で絵本に親しむ機会が減っているように感じる。子どもの読書活動が充実するよう、これまで以上に、読み聞かせの大切さを伝える工夫をしていきたい。 ・絵本への興味については、子どもも保護者も個人差が大きいため、興味が薄かったり、家庭での読み聞かせの余裕がなかったりするところへの支援に工夫が必要だと感じている。 ・一人ひとりがよんでほしい！と持ってくる絵本をゆつくりと読む時間や人手が足りないことがある。 ・多様な絵本や紙芝居などを100冊絵本で借りることができて子どもたちも喜んでいる。 【学校】 ・読書記録カードの活用や、自分自身で読書目標を設定したことで、能動的に読書に取り組み、読書量も増えてきた。また、読書に対しても肯定的にとらえる児童が増えてきた。しかし取り組む児童は固定化されているのが課題であり、家庭での読書の様子が学校ではつかみづらいのが現状である。 ・読書カード(区内共通)や読書表彰などがあれば、より意欲を高められるのではないかな。 ・子どもたちの教室から一番遠い校舎に図書館があるので、開放しても来る子どもが少ない。 ・図書館に足を運んでもらって、本を手にする機会を増やしていきたい。 ・子どもの日常には、読書以外の楽しい体験があふれており、以前に比べると、読書量が少なくなっていると感じる。 ・学校司書がいるだけで、子どもは本に注目しはじめる。学校司書の数を増やし、全ての小学校で週2日以上配置を希望する。	【区役所】 ・淀川区で実施している、子ども達に絵本の楽しさを知ってもらうイベント「ものがたりのちから」の実行委員会に区内の色々な読書ボランティアにぜひ参加していただきたい。 【図書館】 - 新設した「りんごの棚」や「しらべものへのとびら」コーナーの紹介と点字付き絵本、LLブックなどを現物を見ていただきたいながら紹介した。 【子ども・子育てプラザ】 - ブックスタートで目の不自由な方が来られる場合、プラザに連絡してもらえば、こども青少年局に点字付き絵本を依頼する。
東淀川区	6月17日	・図書館定例行事のほか、子ども読書の日、図書館フェスティバル、One Book One OSAKAスペシャルでのおはなし会への参加。 ・区内保育所、子育て支援センター、小学校放課後いきいき事業でのおはなし会の実施。 ・地域フェスタ、子ども・子育てプラザ、地域子育てサロン、地域子育て支援センターでの絵本展やおはなし会等の実施。 ・デジタルに頼りがちだが、アナログの良さをPRする必要がある。 ・おはなし会に参加したことがない、機会がない子どもや保護者への対応、積極的なアピールをどのようにすべきか。 ・イベント参加者にはリピーターが多く、ひとりひとりに合わせた丁寧な対応を心がけている。好みに合う絵本をおすすめすると喜んでいただけるのが嬉しい。	・ブックスタート、絵本展の実施。 ・職員、図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせや親子のふれあい遊びの実施。 ・絵本コーナーの設置と貸出。(興味・年齢・季節等により入替) ・絵本セット配本(幼児期読書環境整備事業)の活用。 ・施設の大規模修繕との兼ね合いで、絵本展の日程調整が難航した結果、自館の絵本を使用した絵本展を実施し、手遊びを交えて職員による読み聞かせを行った。 ・絵本を自由に読むことのできるコーナーを設けているが、片付けが不十分になり子どもが本を乱雑に扱ってしまう。他施設の環境的な工夫について知りたい。 ・子どもが絵本を投げたり踏んだりしても気にしない保護者がいる。絵本を大切にもらうことが課題。 ・保護者がYouTubeやSNSを閲覧している影響もあり、絵本より映像に慣れてしまい、絵本を見る習慣がないという子どももいる。施設で絵本をすぐ手に取ることでできる環境を作り、読み聞かせを続けることで絵本の楽しさを伝えたい。	【小学校】 ・朝読書、図書館開放、読書週間の実施。 ・学校司書、教員、ボランティア、図書委員会による読み聞かせやブックトーク、学校司書と連携した図書館活用授業やビブリオバトルの実施。 ・図書委員会によるポップ作り。委員会活動により貸出が増加。 ・学級文庫の活用。 ・万博からの野菜の種付き絵本の活用。 ・学習単元に合わせた資料の準備、活用。 ・人気のシリーズ(つばさ文庫、青い鳥文庫等)を入れることで、絵本からものがたりへの移行がスムーズにできるようになった。 ・国語辞典を1、2年の学級に各2冊、3～6年の学級に各児童数分配置し、多くの語彙に触れる環境を作る。 ・汚破損、旧版、20～30年経過した図書を廃棄して、新しいものと入れ替えていくことが課題。 ・タブレット使用やゲームなどの影響か、集中力が続かず黙読をすることが難しい子どもが多い。 ・図書館の掲示物はどのようなものが良いか。 ・高学年が少ない時間の中で読書活動に取り組むのが難しい。 ・読書習慣に個人差が大きい。 【中学校】 ・図書館開放の実施。毎週木曜日は全日、その他の曜日は教頭補助員により週3日昼休みに開館。 ・全学年で朝の読書時間の実施。 ・秋の読書週間に合わせた図書委員会による取組。 ・家庭における読書の時間は減少傾向にある。幼少期から読書習慣の定着させることが、大人になってからも新しい知識や考えを読書によって得ることにつながる。 ・図書館の来館者は一定数いるが、読書習慣の定着には至っていない。	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
東成区	7月7日	・デジタル化など子どもを取り巻く環境が大きく変わっているが、一番大切なのは生の読書体験だ。 ・図書館や区内の幼保施設でおはなし会を多数実施。個別読みを行う幼稚園も。ネット上から簡単に情報が得られる時代だが、絵本の魅力も知ってほしい。	【子育て支援センター】 0歳児が楽しめる大型絵本を増やしたい。ブックスタート、絵本講座など図書館との連携にも取り組む。 【子ども・子育てプラザ】 - ブックスタートや「絵本のひろば」等の事業、通年での読み聞かせを実施。読書経験の少ない若い親世代、外国にルーツを持つ子どもへの対応が課題。	【小学校】 - 主幹学校司書として、精力的に多様な事業を進めている。絵本から読み物への移行支援、障がいのある児童への支援にも取り組みたい。 【児童いきいき放課後事業】 - 参加児童は低学年がほとんどで、宿題の後の時間を読書タイムとして本に向き合うよう促している。 【幼稚園】 - 絵本の貸出を実施。保護者にも関心をもって子どもと一緒に絵本を楽しんでほしい。 【保育所】 - 大型絵本やパネルシアターにより様々なおはなしに触れる機会を作る。年中・年長児の図書館訪問、おたよりを通じた保護者への絵本紹介も。	【区役所市民協働課】 ・小学校高学年と中学生を対象とする、区独自の電子書籍サービスは令和7年度限りで終了。 ・50冊以上読んだ児童を区長が表彰する取組は、今年度も継続。 【区役所保健福祉課】 ・子育て支援イベント「フェスティバル」で、絵本の読み聞かせをおこない、「スタンプラリー」では、景品の一つとして絵本を提供。
生野区	7月3日	・ボランティア集団も高齢化が否めない。新しい人材を確保する術が必要。 ・高齢のメンバーがゆったり読み聞かせをするのを聞くと絵本のもつ良さを感じる。小学校訪問で『花さき山』の絵本の読み聞かせを行ったところ、声の響きで絵本にも引き込まれ、児童・教職員にもたいへん好評だった。世代間の交流にもなっている。 ・小学校で絵本の読み聞かせを行うと、子どもたちがとても熱心に聞いてくれる。乳幼児期から絵本に親しめるようにしてきた取組の成果が表れていると感じる。一方で、図書館でのおはなし会は、小学生の参加が伸び悩んでおり、課題だと思っている。 ・図書館での0～2歳乳幼児親子向け行事では、保護者の就労開始や子どもの入園などで来館可能な曜日・時間が変わり、継続参加が難しい。そのため毎回の新規参加者確保が課題だと感じている。 ・「いろんなことばのおはなし会」について、同じ絵本をちがう言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語)で楽しめるプログラム。歌や手遊びもいろんな言語で行うなど工夫して実施している。実際に参加した方の反応は良好で、楽しい雰囲気が伝わってくる。しかし、集客が伸びないことに課題を感じている。	・子育て支援の広場で、ベトナムのお母さんが広場に来ているほかのお子さんにベトナム語で絵本をよんであげるという姿がみられるなど、絵本を通じた交流がありとてもよかった。 ・絵本の貸出や常時読める環境を作っているが、絵本の取り扱い方が雑になってしまうことがある。ざぶとん読みや絵本の貸出をする中で絵本の大切さを伝えることが課題となっている。 ・絵本の貸出に興味がある人とそうでない人の差がある。	【保育所】 ・外国籍の子どもに対する読み聞かせの難しさを感じる。 ・視覚や五感に訴える絵本(乳幼児むけのものとは別で)をもっと提供できるといいなど感じる。 【小学校】 ・海外にルーツがある児童や長文を読む力のない子へどのようにアプローチすればいいか。 ・ビブリオトーク(教科書に関連する本を紹介。4年生以上の図書の時間の始めに実施。)たとえば、図書の時間の始めに、学校司書が教科書掲載作家(例:村中李衣さん)の本を取り上げ、「読んで感じたこと」を短く伝え紹介する。紹介をするとその物語を借りたいと多数の子が来てくれるようになった。 ・赤ちゃん絵本を積極的に購入している。赤ちゃん絵本は、言語の壁があってもわかりやすく読みやすい。児童が未就学の弟妹のために借りるなどの姿も見られる。赤ちゃん絵本など対象年齢が小学生未満の本であっても、家庭での読み聞かせも視野に入れて、学校図書館でそろえていきたいと考えている。 ・本には親しんでいる様子、図書館開放にも参加している。図書の時間も楽しみにしているようだが、「読書は好きですか」などアンケートを取ると数値はあまりよくない。 ・本が好きな子どもは多いが、体力づくりと読書等20分休みにさせたいことが多く、全員で取り組むことは厳しい。 ・読書が好きではない児童への働きかけが難しいと感じている。絵本から児童文学への移行(特に中学年)がなかなかできない児童が多い。 【中学校】 ・小学校とは異なり図書の時間がないので、授業で図書館を利用する機会を少しずつ増やしている。 ・読書活動に親しんできた生徒が年々少なくなってきている。活字離れや漢字が読めないなど、読書の前段階の課題が山積みであるように感じる。	【区役所】 ・外国籍親子の中には、絵本の内容理解が難しく、手元のスマホに集中するなどの姿が見られる、多言語で読み聞かせができるボランティアの募集・育成が必要だと考えている。 ・ブックスタートの配本形式を変更し、3か月児健診に来られた人に同日お渡しではなく、子育て施設での申込制にしたため数値が伸び悩んでいる。関係施設と連携し、実施回数を増やし、参加者の増加を目指し広報を強化している。 【子育て支援施設】 ・大阪わかば高校との連携について→今回で3回目、大阪わかば高校はいろんな国にルーツをもつ学生がいる。園では子育て支援のイベントとあわせて本企画を実施しており、参加した学生が連携をきっかけに保育と出会い、後に保育園の正職員になったというエピソードも生まれた。一方、他の子ども向け行事と重なる時期は参加者が少ない回もある。内容は、演者がギター演奏したり歌を交えたりと音楽も楽しめるプログラムとなっている。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
旭区	6月25日	・保育所等へのアンケートをおはなし会の実施後でなく事前に行うことにしたため、施設の実情に合わせた希望を把握でき、本選びの参考にできるようになった。 ・学校でのおはなし会で、語った本の紹介をしている。学校で同じテーマの本などを追加で案内すると、読書につながるのではないか。 ・聞く姿勢がなかなかできない児童が増えている印象があり、参加型や遊びのある絵本を選ぶよう心掛けている。 ・メンバーの高齢化・減少が課題である。 ・おはなし会の実施には人数が必要なため、メンバーを増やしたい。 ・近隣に話題性のある図書館がオープンし、地域の図書館の活動が見劣りしていると感じる。魅力的な催しの充実を求めたい。	・絵本を設置するほか、小学生向けの漫画も設置している。図書館から借りた本を活用し、貸出も実施している。 ・読書習慣がある子が少ないと感じる。幼少期の読み聞かせ経験の差が影響していると感じる。 ・絵本の貸出では、絵本選びの相談・おすすめ紹介に加え、子どもの見守りをして、保護者がゆっくり選べる時間を大切にしている。 ・元司書スタッフが帯やポップをつけて絵本の紹介展示をしている。手に取られやすく貸出にもつながっている。 ・図書館が遠く、借りに行けないという保護者の声があるので、図書館の100冊貸出を活用した貸出を検討中である。 ・「おとなのための絵本の会」を実施している。子どもはスタッフが見守り、保護者だけで静かに絵本を味わう機会を提供しており、参加者から好評である。 ・0～1歳児が中心のため、絵本に触れるきっかけづくりから始めている。貸出用絵本を設置したことで、親子で絵本を選び、読む機会が増えたと感じる。 ・赤ちゃんが汚したらいけないと考え、本を借りることに消極的な保護者がいて、残念に思う。	【保育所・幼稚園】 ・図書館の100冊貸出は、定番以外に多様な絵本・紙芝居もあり、助かっている。 ・おはなし会はリクエストも聞いてもらえ、子どもの興味を広げる新しい絵本を紹介してもらえるのも刺激になっている。 ・園の掲示板で絵本の紹介を始めたことが、親子の読み聞かせにつながっている。 ・日常活動の中で絵本と触れ合う機会を増やしている(絵本コーナーの設置や読み聞かせ等)。 ・園庭開放や地域の子育てサロンで、絵本や手遊びを継続して行っている。 ・絵本を活用した言葉や表現活動(発表会の劇など)を実施予定。 ・親の本離れを感じる。 ・家ではYouTubeやゲームが増えているようだ。親子で絵本に触れ合う機会となるイベント等があれば、園で情報提供していきたい。 ・読み聞かせの際、子どもの反応の個人差が大きいのが課題。 ・じっくりページの絵を見る子が減ってきたように思う。保護者も、じっくり子どもと向き合う層とスマホ等に任せる層に分かれてきている。 【学校】 ・ICTや英語の時間確保のため、読書の時間が以前より減っている。 ・高学年は読書の偏りが課題。読みやすい本であれば手に取るため、サバイバルシリーズなど多様な本を置くことが大事だと思う。 ・来館児童が増えない、長編物語があまり読まれないなど、読書離れが見受けられる。 ・校舎工事中でも本を手にとれるよう工夫した。 ・子どもに読みたい本のアンケートを取り、学級文庫にそろえていく予定。 ・校長による読み聞かせでは、芥川龍之介や夏目漱石などの有名な文学を選び、古典に触れる機会にしている。	【区役所】 ・保護者が本を身近に感じられる取組の普及が大切である。
城東区	書面開催	・ボランティア活動を通じて知った絵本を子どもたちに読み聞かせるが、そのあとの読書に結びついているのかかわからない。結びつけていくためにはどうすればよいのか。 ・最近は絵本の読み聞かせもアプリにおまかせの方もあるというはなしもあり、対面での読み聞かせの良さも伝えていく必要があると感じている。	・絵本を破ってしまう子、なめてしまう子へのアドバイスをどうしていくか。 ・子どもがすぐにウロウロしてしまうが、親としては絵本を見せてあげたいという要望があり、少しでも寄り添えるように声掛けしていきたい。 ・親が絵本に親しんでいたら、子どもも手に取る機会が増えると思う。親も絵本を楽しむ環境であってほしいと願っている。	【幼稚園・保育所】 ・園から散歩で城東図書館を利用。 ・在園児だけでなく、地域交流事業で来所した方にも読み聞かせに参加してもらい、喜ばれている。 ・家庭でスマホやタブレットにふれる機会が多くなっている中、おうちの人と一緒に絵本を読む時間をもってもらえたらと思う。 ・絵本の読み聞かせがよいとわかっているけど、家庭だけでは難しいのかなと思う。 ・平日は仕事があり図書館のイベントに参加することができない。土日にイベントなどがあれば、絵本にふれる機会になるのではと思う。 ・乳幼児期に家庭で絵本や素話など、動画以外でお話にふれる経験の差が大きく、園での集団生活に入ってから、子どもの絵本への関心に差があると感じている。 ・園の本が古くなり、PTA委員が年2回修理している。新しく購入したいが予算が少なく、予算が配当されるとありがたい。 ・図書館が企画されている案内やパンフレット等があればほしい。 【小学校】 ・ICTの普及とともに、読書離れや本を使った調べ学習の機会が減った。 ・子どもたちの興味のある本に偏りがある。 ・子どもたちの興味のある本が、図書室に少ない。 ・学校司書が週1日の勤務なので、教員の負担が大きい(学校規模が大きいとさらに大変)。 【中学校】 ・中学生の読書量が少なくなっている。 ・生徒の読みたい本と図書室にある本(読ませたい本?)がマッチしていないように思う。 ・学校司書が週1日の勤務で、教員との接点が少ないためよくわからない。	6/26対面で開催予定だったが台風接近にともなう大雨のため書面開催に変更

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
鶴見区	7月3日	・図書館でのおはなし会は、たくさんの親子がきてくれるが、まだまだ知らない人も多くいる。区の広報にも掲載されているが、写真等をのせて行ってみたいと思ってもらえるようにするとか、幅広い広報活動ができればと思う。 ・小さい子どもの場合は、親が本に興味が無いと本に触れる機会が少なくなると思う。スマホやタブレットを見ている子どもが多く、紙の本の良さも知ってほしい。 ・最近、赤ちゃんや1～2才の低年齢層が多く、急遽プログラムの変更が必要な時があり、常に幅のあるプログラムを用意しておく必要を感じるようになった。	・児童はYouTubeなど動画に関心が高いが、読書や本にであう機会が減少していると感じる	【保育所】 ・絵本の貸出をしているが、家庭での読み聞かせにつながっているか確認できない。(読み聞かせをしている家庭もあるが、そうでない家庭もある) 【幼稚園】 ・国内の絵本をシリーズでそろえる等、新しい本に触れる機会をつくりたい。 ・保護者より、家庭で絵本を読む機会がないと言われる。絵本カードを書いてもらうことによって親子で絵本を楽しむきっかけをつくろうとしている。 【小学校】 ・保護者を含め、活字離れが気になる。 ・小説等に触れようとしにくい児童が多い。 ・本を読まない、読むことが苦手な児童への好きになってもらう対策。 ・読書に親しむ時間が少ない児童への対応。 ・図鑑や絵本を手取る児童が多く、物語や小説への移行をどのようにして促していくか課題だと感じる。 ・図鑑や絵本は手取るが物語を取らない子が多いため、味見読書を実施したら、カードに感想を思いのほかしっかり書いており、テーマが難しい戦争の本でも効果があると感じる。 【中学校】 ・学校図書館がとても不便な場所にあり、又、昼休みに給食があり時間がなくて来にくいので、どうしたらいいかと思う。	・府読書推進会和朝日新聞が実施している読書手帳を使っている。セッションの読書手帳のプレゼントの対象外であるが、読んでいることに変わりはないので、対象としてもらえないか。図書館は校区外であるため子どもだけで来ることができない。読書手帳の対象が広がれば親を連れて図書館に来て本に親しむ口実になるかもしれない。
阿倍野区	7月8日	・心に響くように読み聞かせをするよう練習している。子どもだけでなく親御さん達の本離れを防ぐきっかけになるよう努めている。絵本が心の栄養になることを知ってもらいたい。 ・図書館での行事は、参加者の低年齢化を感じる。0.1.2歳児に対してのプログラムが難しいというメンバーからの声もあるが、勉強会などをしてブラッシュアップに取り組んでいる。参加者の年齢層が0～4才くらいと幅があることもあり、当日参加者を見てからの絵本の差し替えやプログラムの変更のため、打ち合わせの大切さを感じる。保護者も楽しんでもらえるようにしている。 ・活動の必要性は感じているが、メンバーの高年齢化に対応できるよう、新しい加入者が必要。 ・他のグループの読み聞かせが気兼ねなく見学できたらいいのだが、入りにくい。 ・ブックスタート活動の中で、図書館まで遠いのでお楽しみ会やイベントに参加したいと思うがなかなか行けないとの声を聞くことがあり、ブックスタート活動の場でも、ふれあい遊びやわらべうたなどを入れながら、楽しんで絵本に親しんでもらえたらと活動している。	・子ども・子育てプラザに外国籍の親子のご利用もあるので、外国語の絵本を準備したいが、価格も高くたくさん購入できない。 ・早期英語教育に興味を持つ保護者が多いと感じる(親子で英語を楽しむイベントや英語絵本の読み聞かせは反響が多い)。 ・施設の老朽化や手狭になっていること、スタッフ不足が課題。	【保育園】 ・令和7年度よりお迎え時に親子で絵本を読むスペースを開放したところ、利用が増えている。中央図書館からの幼児期配本の貸出が好評。 ・インターナショナルスクールの高校生による英語での読み聞かせ好評。多文化絵本を取り入れていきたい。 ・各保育室に絵本コーナーを設置。毎日絵本の読み聞かせをしている。 ・今のところ子どもたちは絵本を見たり読んだりすることが好きで、絵本に親しむ機会は多いと感じている。 【幼稚園】 ・近隣の外語専門学校の生徒が日本語で読み聞かせをしたり、外国語での交流がある。外国籍の園児も多い。 ・絵本の会あべの あのねのねに読み聞かせに来てもらっており、園の教員も読み聞かせの参考にしている。 ・毎週金曜に絵本を貸出し、絵本カードを作成して家庭での読み聞かせの様子を記入してもらっている。保護者にも絵本に親しんでもらっている。 ・家庭では動画を見る機会が増えているため、園では絵本を読む機会を今後も大切にしていきたい。読書習慣をつけてほしい、絵本を好きになってほしいと願っている。 【小学校】 ・学校図書館の来館促進のため、スタンプカードを作成した。 ・図書委員会の活動として、児童朝会での新書紹介、図書室での読み聞かせ、ポップ作成、教員おすすめ本紹介ポスターを作成。 ・読書活動にあてる時間が削減傾向にある。他にすることが増えており、朝読書の割当でも減っている。 ・児童の二極化(たくさん読む子と、読書に興味あまり無い子)、児童の興味の偏り(もっと様々なジャンルの本を読んでほしい)、人気本の偏り(貸出多数本と、手に取られない本)が課題。 【中学校】 ・本離れが進み、学校図書館利用人数の減少が課題。読む子読まない子の二極化が進んでいる。読書時間が取れていない。語彙力の低下等に危機感を抱いている。 ・今年度、授業時間内での学校図書館の利用を予定。	【子ども・子育てプラザ】 ・ブックスタートの絵本が流行りの絵本にシフトしている感じがするが、流行りの絵本はすでに持っておられる確率が高く、お母さんたちが知らない名作絵本をブックスタートとして選書してもらえたらと思う(こども青少年局に伝達済。図書館に情報共有)。 【子育て支援施設】 ・自宅や病院等で療養中で外出が難しい親子に対し、スタッフが出張しブックスタートができないか、可否含めてこども青少年局に問い合わせ予定。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
住之江区	7月14日	・保育所で外国にルーツをもつ子どもが多くなっていると感じる。日本語の絵本をゆっくり読み聞かせすればいいと言われるが、それだけでいいのか悩む。小学校のおはなし会では、先生が外国にルーツを持つ児童にパソコンの翻訳ソフトでおはなしを翻訳してくれた。 ・絵本の絵と文章が合っているか、内容が子どもの生活・年代にあっているか、読み聞かせる絵本の選び方が難しいと感じる。長く読み継がれてきた絵本の方がよく聞いてくれると感じる。今、流行っている絵本だからと選ばずに、いろいろと勉強していかないといけないと感じる。	・小学生に活字を読んで欲しいと考えるが、動画や30秒ほどのショート動画を見ている児童が増えており、本に触れる機会は少なくなっている。音→絵→ストーリーという順番で理解しているように見受けられる。長時間は集中できないということも聞く。電子媒体から活字に触れる機会をつくることができればと思う。	【保育所】 ・子どもたちには特に定番の絵本が喜ばれている。 ・読む絵本に隔たりがある、他施設でどんな絵本を読んでいるか知りたい。 ・昔話やおとぎ話などに出会う機会が少ない。動画ブームのせいか、イラストより写真の挿絵を好む傾向にある。 ・絵を楽しんでいる段階の子に文字を読ませよう、教えこもうとする保護者がいる。 ・図書館の利用者が少ない。 ・子どもは絵本を読んでもらう事が大好き。色々なお話にふれる機会をもちたい。 ・親子で絵本に触れ合う機会、家庭での読み聞かせや絵本に触れる機会が少ない。保護者に絵本の読み聞かせの大切さがなかなか浸透しない。 ・同じ位置、置き方ではマンネリ化するので「今週の絵本」等ピックアップして展示していく。 ・日常の遊びや会話から興味に沿う絵本や子育て関連本を手に取りやすくする。 ・図書館の利用を勧めると、子どもが本を破ると、同じものを買って返さないといけないから図書館で借りられないと思っている保護者がいた。 【小学校】 ・校内(図書・朝読の時間)では読むが、放課後や家では本を手取る子が少ない。本を進んで手に取る子と取らない子に二分化されている。 ・長時間かけて物事をすすめる力が失われてきている。結末がわからない、見通しがつかないものに不安を持つ様子が伺える。途中まで紹介してあとはお楽しみに、というブックトーク等の手法は、子ども目線で見直しも必要ではと感じる。 ・進んで読書活動を楽しむ子は少ない。いかに読書に出会わせるかが課題。 ・読書習慣がない、あまりない子が年々増えており、興味の持たせ方に悩む。 ・学校司書の勤務日をふやしてほしい。 【中学校】 ・2学期の単元を先取りし、1学期にビブリオバトルを実施。6人の発表者がそれぞれ別の視点で本を紹介し、3分のディスカッションでは質問も活発にでて「読んでみたい」という声も多くでた。読書感想文にはない双方向のやり取りが魅力。何がきっかけで、何を読んでもらいたいかを語るところが良い。継続実施したい。 ・長い文章を読むこと自体負担に感じる生徒がいる。 ・よく本を読む生徒は読むけれど、読まない生徒は全く読まない。 ・子どもの読書離れが日々課題だと感じる。学級文庫の本を手取る生徒は少ない。朝読書が廃止になり、ますます読書離れが顕著化している。 ・スマートフォンやゲーム、動画視聴などの影響で、読書時間が減少している。 ・本に興味をもつきっかけが少ない子もいる。 ・読書習慣が定着しない子、静かな空間で活字を読むのが苦手な子が増加。	
住吉区	7月3日	・読み聞かせボランティアの高齢化(活動場所等に配慮必要) ・おはなし会の依頼は増えてきている。しかし新しくボランティアになる人はなかなか増えないため、活動の多忙化が継続している。 ・大型絵本は充実してきて、使いやすくなったが、通常サイズの特に赤ちゃん絵本は傷みが激しいものが多い。 ・おはなし会の参加者は未就学児が多く、小学生の参加、特に高学年の参加が少ない。 ・ストーリーのある紙芝居が増えてほしい。 ・外国ルーツの子どもの増加、先生方も苦労しながら手探りの状態のようである。 ・耳の聞こえない子には簡易な手話で対応したこともあるが、外国ルーツの子どもについては外国語での対応が難しい。	・ブックスタートについて知らない人が時々いるので、もっとわかりやすく周知できる方法があればと感じる。	【保育所】 ・外国籍の子どもの入所が増えてきており、英語の絵本はよくあるが、他の言語の絵本が身近にあればと思う。 【小学校】 ・図書室の利用や読書週間は、一部の興味のある児童以外への広がりが弱い。来室する児童が限られている。 ・高学年はそもそも図書室に来る時間が少ない中で本に興味を持ってもらうにはどうすればいいか。 ・学習時間の兼ね合いもあり、なかなか図書や朝読の時間が確保できない。 ・一人一人対応できる時間がない。 ・学校司書の勤務を週2回に増やしてほしい。 ・物語文を好む児童が増えない。 ・読む本、人気の本が決まっていて、様々な種類の本を読む児童が少ない。 ・新聞の活用方法が知りたい。 ・読書する習慣が身についていない。 ・子どもたちの読書離れが気になる。(大人もかもしれない) ・LDとそうでない児童の見分けがつきづらくいろいろ、ここ最近、低学年での書字の積み上げが足りないと感じている。 ・朝の読み聞かせ、図書室の活動については、ボランティアの力が大きい。 【中学校】 ・朝読を実施 ・図書室に入荷してほしい本をリクエストできるよう目安箱を設置。 ・今年度から開始した1年生での図書室利用のオリエンテーションについて、国語の時間に実施。昼休みは利用も多く、20～40人来室。他校では経験がないほど多い利用あり。	住吉図書館の本の傷みについて ・通常サイズの特に赤ちゃん絵本は傷みが激しいものが多い。もし修理してもよいのなら、修理の講習をしてほしい。(ボランティア) →状況を認識している。利用が多く、傷みも激しい。現在、払出、買い替え等作業中。修理については、学校図書館支援ボランティア講座として実施は可能だが、当館資料については傷みを見つけたら、当館で修理等するので、その都度、当館職員に伝えてほしい。(図書館より) 「住吉図書館では、さわる絵本などはないか」の質問について →これから「読書バリアフリー計画」を策定していく予定である。住吉図書館は現在、さわる絵本・LLブックなど所蔵が少なく、中央図書館より取寄せをして利用していただく形となる。今後、大阪市立図書館として読書バリアフリーに向けて資料の収集等にも努力していく。(図書館より)

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
東住吉区	7月13日	・小学校へ行くのにグループでしっかり練習したい時に練習の場所の確保に少し苦労している。 ・おはなし会で絵本を選ぶときには、「日本のもの」「海外のもの」「科学的なもの」「素話など」を入れている。練習場所が東住吉図書館に無いので、早川福祉会館他の施設を利用して練習している。 ・メンバーが少なくなって、以前は1クラス4人体制が組めていたが、現在は1クラス3～2人体制で活動している。 ・紙の本(絵本)を愛している。作者の思いがストレートに伝わる紙の本を大切にしていきたいと思っている。 ・じっくりと絵本を読めているだろうか？絵を楽しんだり、物語の流れを把握できているか、おもしろがったり感動したりしたか、知りたいし、わかりにくい。 ・おはなし会の参加者が少なく困っている。開始時は0名の時もあり、そこからだんだん参加者が集まってくる。以前はもう少し多かったと思う。低年齢化も進んでいる。乳幼児と保護者の参加が多い。 ・少しでも多くの子どもたちや子育て世代の親御さんに楽しんでもらえる時間になればと思って活動している。一年通して、終了間際に入って来られるということがあり、少し残念に思っている。会場はオープンで入りやすくてよいと思う。 ・東住吉図書館の会場はオープンで、来館者が参加しやすい。徐々に人が集まり14:15ぐらいには参加者がそろう感じ。もう少し早く集まってくれとスムーズ。館から紙芝居の拍子木の使用許可を得たので、活用する。 ・場所と時間の設定に迷っている。	・親子で絵本を楽しめるように絵本は置いている。 ・親(保護者)への絵本の推進をどうしていくか。 ・絵本や本が好きな保護者は積極的に絵本を手に取り保護者が読んであげているが、保護者自身興味の無い方は、子どもにもあまり絵本の時間を設けていないようで気になる。絵本から受ける刺激は成長に必要・大事であることを伝えていきたい。 ・小学生の活字離れや読書傾向の偏りが気になる。 ・保護者の読書離れ ・SNS、デジタルへの移行 ・しかけ絵本に興味を持つ子が増えてきた。おめんの絵本(「おめんです」)や「いないいないばあ」などを読んでほしいと保育士に言ってくる。	【保育園】 ・貸出図書利用以降絵本好きな子が増え、絵本を大切に扱うことも学んでいる。 ・おはなしたまてばこさんの日を楽しみにし、読んでもらった本をもう一度読みたいとの希望があがるように。保育士も読み聞かせ方や選書を学んでいる。 ・少人数でゆったり読み聞かせしたいが、職員数の都合で大人数になることが多く、絵本が見えにくかったり、時にはざわついたりする。 ・子どもは絵本が好きなので、1対1の読み聞かせを喜んでいる。 ・家で絵本に触れることが少なくて扱いがわからず雑に扱って破いてしまうことも。 ・家庭でも絵本に触れ、親子で絵本タイムを楽しんだりしてもらいたい。 ・幼少期の絵本体験が興味関心・知識欲を広げ、読書につながることを保護者へ伝えたい。 ・保護者、子どもとも本・絵本でなく、タブレットやスマホ、動画等を見て過ごすことが増えている。親子のふれあいに、絵本を取り入れるよう発信していきたい。 ・昔ながらの絵本を手取る子、保育士が減ってきた、ボランティアの読み聞かせで、そういう絵本がとりあげられるとホッとする。 ・デジタルコンテンツの活用も必要。頭を切り替えていかないといけない。 ・当所の子どもは、絵本、紙芝居等大好きで、読み聞かせを楽しんでいる。保護者の多くは多忙で、動画を見せたりゲームで遊ばせたりする事が多い。子どもの身近に本があり、すぐ手に取れるような環境が大切。 【小学校】 ・修学旅行中、全員が2時間読書。スマホが無ければ読書をするとうわかる。 ・デジタルアーカイブに興味深い古典籍や地図があるが、うまく検索できない。 ・5・6年生から読書離れがすすんでいると感じる。 ・東住吉図書館からのおはなし会、団体貸出に感謝している。 【中学校】 ・学校司書を中心に生徒が自発的に本を手取る仕掛け作りを継続するとともに、学校と地域館がより密に情報共有を行い、子どもたちへの効果的な支援体制を構築することを期待する。 ・4月に校長として赴任。読書離れが言われる中、本校は読書活動が活発で、学校図書館に生徒が集まる。蔵書も13000冊と多い。学校司書によるPOP等、週4勤務の主幹学校司書配置も充実の一因と思う。 ・毎月ベストリーダー賞を設定、1学期で200冊読んだ生徒も。一方で全く読まない生徒もあり、2極化していることが課題。 ・AIを使うにも、AIに指示するための言語化の基礎として読書が大切。読書の入口として漫画活用も有効というデータもあり、漫画の活用も検討したい。	【区役所】 ・相談業務や家庭訪問を通じて、幼少期からタブレットやスマホでひとりで動画をみる事が日常化されており、親子で絵本をみて時間を共有する事が少なくなっていると感じている。絵本がない家も多いので、色々な場面で気軽に絵本を手にとれる機会があればと思う。 ・ブックスタートの保護者への認知度を上げるために、3か月検診の集団説明の内容に、ブックスタートの説明を盛り込んだ。 ・4歳児の時にも絵本の配布を区の事業として行っている。 【区社協】 ・子どもの読書支援活動をしているボランティアへの後方支援が貧しい(活動の場の提供、新たなボランティアの育成→ボランティア養成講座)
平野区	6月30日	・言葉・想像力の観点から読み聞かせは重要。環境整備と地道な活動の継続が必要。 ・小学校からの読み聞かせの希望は低学年が多いが高学年にも効果大(重いテーマ等も扱える)。高学年でも活用を促したい。	・年齢が様々で、年齢に応じた絵本紹介が難しい時がある(読み聞かせ等)。絵本コーナー設置・入口付近におさんぽ絵本設置していると、親子の利用はあるが、多くの親子へ絵本に触れる大切さを伝える工夫が必要 ・年齢が上がると1対1読み聞かせが減る。発達段階に合う絵本に触れる機会が増えると習慣化につながるのでは。 ・保育所では個別に読む時間が取りにくい。図書館が遠い家庭がある ・絵本との出会いに家庭差を感じる。図書館以外にも含め「借りられる場所」が一目で分かるマップ・リストを施設間で共有できると案内しやすい。	【小学校】 ・絵本をじっくり読む機会が減ってきているように感じる。 ・絵本への関心が高く、読み聞かせや貸出本選びを楽しみにしている。 【保育所】 - 保護者の中に絵本の必要性への関心が薄い方もいる。想像の世界が広がることを伝えたい	【おさんぽ絵本】 - カフェや美容室など、ママが立ち寄りそうなお店を中心に賛同店を増やしていたが、最近は発達支援や就労継続支援B型等から賛同希望を受ける。交流になるとのこと。利用者向け／利用者外とのコミュニケーションツール目的の話聞くことが多い。 - ブックスポットを一覧できるマップを整備してほしい(したい)。特に区域が広いにもかかわらず南部地域で本にふれる機会がすくない平野区にとっては必要なことと思われる。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
西成区	7月17日		・季節や利用者の好みに応じて、絵本を展示(面展)。施設内で子どもが自由に手に取ることができるようにしている。ひろば利用時間の終了前(終わりの会)に、絵本などの読み聞かせや、読み聞かせのポイントなどを保護者に伝えている。 ・外国ルーツの親子の利用が増加傾向にある。ブックスタートで日本語の絵本を配布しても、「わからない」と言われることもある。ブックスタート配布絵本紹介文を翻訳し、事前に配布することで、ブックスタートへの参加を促進している。 ・外国ルーツの保護者に日本の伝統文化を理解し親しんでいただくため、関連する絵本をそれぞれの時期に合わせて展示し、読み聞かせをしている。 ・読む・読まないの2極化は、子どもだけでなく、保護者にもみられる。コミュニケーションのツールとしての絵本の役割を、引き続き伝えてゆきたい。	【小学校】 ・図書委員会が作成した「本のPOP」を、書店や西成図書館で展示した。子どもたちは、最初は戸惑うこともあったが、回を重ねるごとにみるみる上達していった。 ・「先生からのおすすめ本」を展示し、子どもたちから好評だった。 ・本を読むことが好きでない子どもへのアプローチ、授業での図書室活用が課題。 ・子どもに関わることができる大人が少ないことが課題 【中学校】 ・地域のボランティア・PTAや学校元気アップコーディネーターの協力で、朝読。紙芝居読み聞かせなどを実施。学校司書と協働した学校図書館の整備。読書ノート の活用。読書感想文コンクール参加。(小・中一貫校で)中学生が小学校への読み聞かせ。 ・学校図書館が教室から遠いため、図書館利用が少ない。そのため、学校司書と連携して、学校図書館オリエンテーションを実施。授業での学校図書館の利活用。(中学校で)マンガコーナーの充実。集中コーナー(自習室)設置。 ・廃棄本をブックトラックにならべて、自由に持ち帰れるようにしたが、利用が少ないため、ベンチの近くにブックトラックを設置するなどの工夫をする予定。 ・読書時間の少なさが課題	